

岐阜県内の土木事務所

名称	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
岐阜土木事務所	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 OKBふれあい会館	058-214-9525	058-278-0052
大垣土木事務所	503-0838	大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎	0584-73-1111	0584-82-4960
揖斐土木事務所	501-0603	揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎	0585-23-1111	0585-23-1105
美濃土木事務所	501-3756	美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎	0575-33-4011	0575-33-4901
郡上土木事務所	501-4292	郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎	0575-67-1111	0575-65-4966
可茂土木事務所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎	0574-25-3111	0574-25-0355
多治見土木事務所	507-8708	多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎	0572-23-1111	0572-25-7224
恵那土木事務所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎	0573-26-1111	0573-26-0417
下呂土木事務所	509-2592	下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎	0576-52-3111	0576-52-1948
高山土木事務所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎	0577-33-1111	0577-33-1086
古川土木事務所	509-4263	飛騨市古川町上野617-1	0577-73-2911	0577-73-3346

問合せ先

岐阜県 県土整備部 河川課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1岐阜県庁12階
TEL 058-272-1111(代表) FAX 058-278-3568
E-mail c11652@pref.gifu.lg.jp
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/6740.html>

河川課HPの検索は、こちら。

岐阜県 河川課

検索



X @gifu_kasen

令和8年6月発行

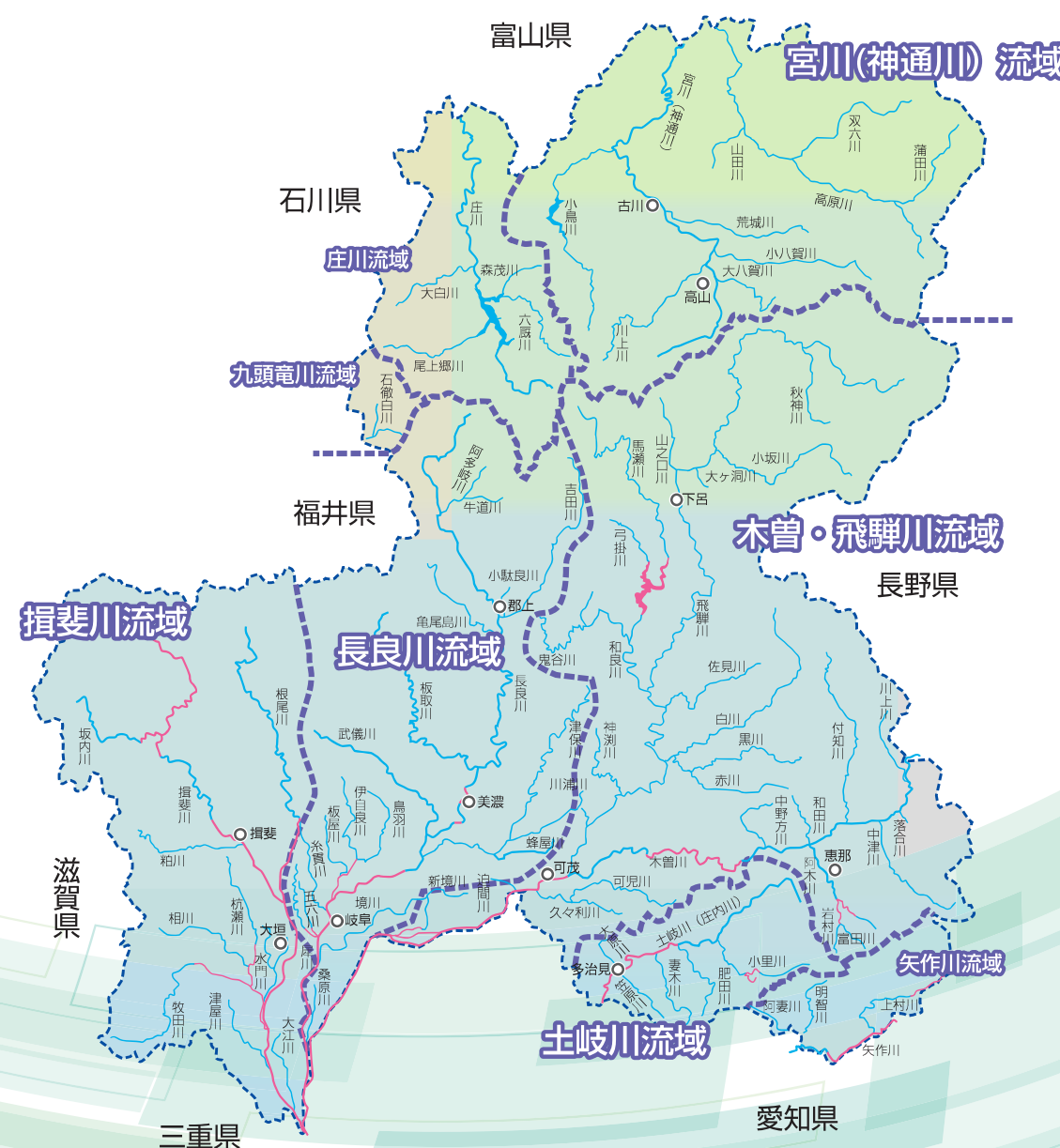
岐阜県 新五流域総合治水対策プラン



第3次 新五流総

長良川流域 揖斐川流域 木曽・飛騨川流域 土岐川流域 宮川流域

～県土を水害に対して安全にしていくための道しるべ～



はじめに

岐阜県は日本のほぼ中央に位置し、北部の飛騨地域には3,000メートル級の山々が連なり、南部の美濃地域には濃尾平野を流れる木曽三川が広がるなど、豊かな自然に恵まれています。古くから「飛山濃水」と称されるように、この地は飛騨の雄大な山々、美濃の水の恵みを象徴していますが、その豊かな自然は、時に厳しい災害をもたらすこともあります。私たちは長い年月にわたり、水害と向き合ってきました。

こうした水害への備えとして、県では平成19年に、県内主要5流域（長良川、揖斐川、木曽・飛騨川、土岐川、宮川）を対象とした「岐阜県新五流域総合治水対策プラン」を策定し、ハード・ソフトの両面から治水対策を進めながら、県民の皆様と将来の治水ビジョンを共有してまいりました。

しかし近年、本県においても平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨、令和6年台風第10号など、大規模な水害が立て続けに発生しています。全国的にも水害は激甚化・頻発化しており、行政だけでなく、流域の皆さまと協働して取り組む「流域治水」への転換が今まさに求められています。

今回の改定では、県民の皆様にも広がりつつある「流域治水」の考え方を一層推進し、「ネイチャー ポジティブ」「グリーンインフラ」といった環境の視点、カーボンニュートラルの実現やDXの活用など、現代の新しい取り組みも積極的に取り入れ、治水対策の質を高め、持続可能な形へと進化させていきます。

本県の未来を守り、災害に強く、美しい岐阜を次の世代へ確実に引き継いでいくために、県民の皆様と力を合わせ、より一層安全で安心な地域づくりを進めてまいります。



岐阜県知事
江崎 禎英

総合的な治水対策プラン



目次

はじめに	1
第3次新五流域総合治水対策プランの概要	3
1.流域別の総合治水対策プラン	13
対象とする五つの流域	13
長良川(中上流)	15
長良川(中流支川)	19
揖斐川	23
木曽・飛騨川	27
土岐川	31
宮川(神通川)	35
2.河川環境の保全・創出	39
3.河川の維持管理	39
4.計画の運用	40
資料編	
①河川の現況	41
②県内の水害の発生状況	42
③河川整備の現状	45

表紙地図の凡例

- 国管理
- 県管理
- 土木事務所



第3次新五流域総合治水対策プランの概要

新五流域総合治水対策プラン改定の経緯

岐阜県では、度重なる水害や異常な気象状況を踏まえ、ハード対策とともにソフト対策を含めた「新五流域総合治水対策プラン（新五流総）」を平成19年に策定しました。

平成26年には、東日本大震災や笹子トンネル事故等の社会情勢を踏まえ、構造物の長寿命化・耐震化、自然共生川づくり等新たな課題に対応するため、プランが改定されました。

今回は、前回の改定から約10年が経過しましたが、気候変動に伴い水災害の激甚化・頻発化が進むなど、河川を取り巻く環境は大きく変化しており、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策に取り組む『流域治水』という考え方がますます重要になっています。

改定 新五流総（第2版） 平成26年3月

河川の現状

- ・水害の歴史
- ・環境
- ・改修・ダム整備
- ・構造物

基本的な考え方

- ・「清流の国ぎふづくり」の推進
- ・H24.7九州北部豪雨を受けた施設管理

- ・対象河川・区間・整備目標
- ・長寿命化・耐震化対象施設

具体的な進め方

- ・ハード対策
- ・ソフト対策
- ・長寿命化・耐震化

- ・実施時期（短期/中期/長期）の区分
- ・自然と共生した川づくり
- ・河川管理施設の維持管理

当面のアクション

- ・河川整備計画の見直し
- ・ソフト対策検討の場を設置
- ・河川環境調査の実施

この10年で生まれた 新たな課題・考え方

水災害の 激甚化・頻発化

流域治水

特定都市河川浸水被害対策法の改正

DX

カーボンニュートラル

長寿命化計画改定

維持管理

自然共生

〔ネイチャーポジティブ
・グリーンインフラ〕

人口減少

財政状況

岐阜県の独自性が高い取り組み

今回の改定では、この『流域治水』を積極的に取り入れ、河川改修だけでなく、市町村や各施設の管理者、住民の皆さんと共に取り組む対策も多数盛り込んでいます。

第3次新五流総（第3版） 令和7年3月

基本的な考え方／新たな課題・考え方とその対応方針

- ・R2.7月、R3.8月豪雨を受けての対策強化
- ・能登半島地震を受けての複合災害想定
- ・「流域治水」の浸透
- ・「ネイチャーポジティブ」「グリーンインフラ」
- ・「DX」「カーボンニュートラル」

田んぼダム
伝統的防災施設
水防団活動 等

- ・対象河川・区間・整備目標
- ・長寿命化・耐震化対象施設

計画の運用

- ・河川整備計画の見直し
- ・流域治水プロジェクトへの参画
- ・河川環境調査の実施

県内共通編

流域の現状

- ・水害の歴史
- ・環境
- ・改修・ダム整備
- ・構造物

地域の特性に応じた
「効果的」な
流域治水メニュー

具体的な対策

- ・氾濫を防ぐ・減らす対策（河川区域）
- ・氾濫を防ぐ・減らす対策（集水域）
- ・被害対象を減らす対策（氾濫域）
- ・被害軽減・早期復旧・復興のための対策（氾濫域）

実施時期
（短期/中期/
長期）の区分

- ・自然と共生した川づくり
- ・河川管理施設の維持管理

個別河川の
具体目標

流域編

改定の
ポイント①
新しい考え方を
積極的に導入

改定の
ポイント②
施策の取りまとめ
方法を見直し

改定の
ポイント③
岐阜県の独自性が
高い取り組みを追加



自然共生工法 分散型落差工（長良川・郡上市）



令和7年度木曾三川連合総合水防演習



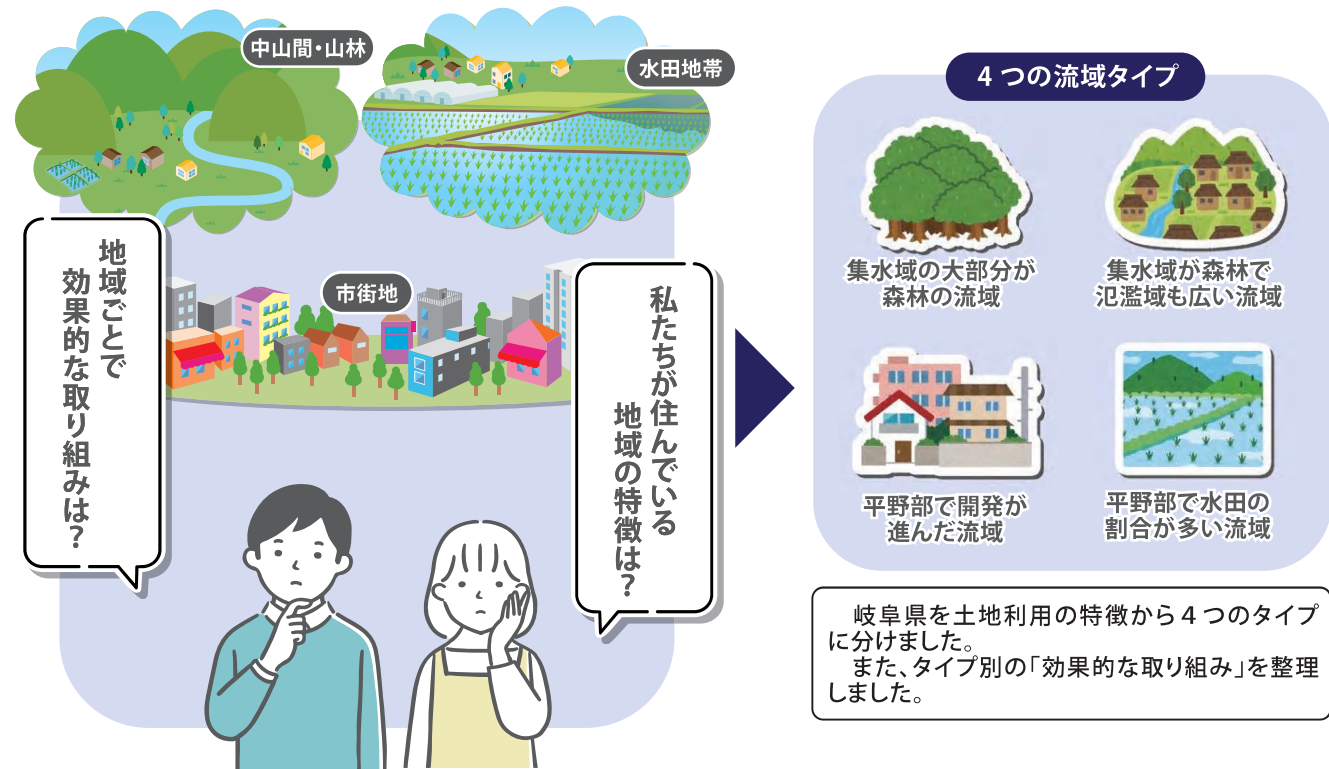
輪中提（輪之内町）



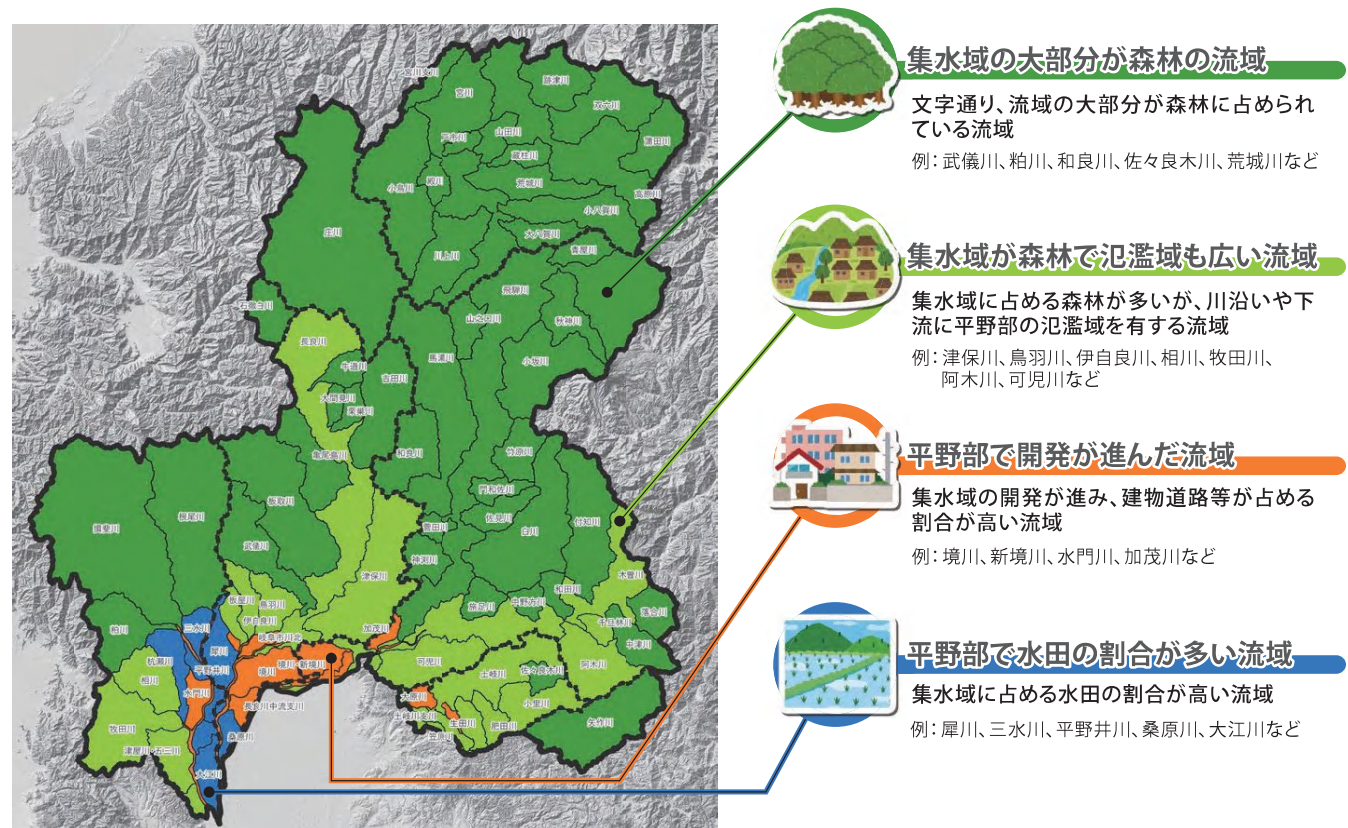
第23回新五流総フォローアップ委員会

第3次新五流域総合治水対策プランの概要

流域の特徴とは？

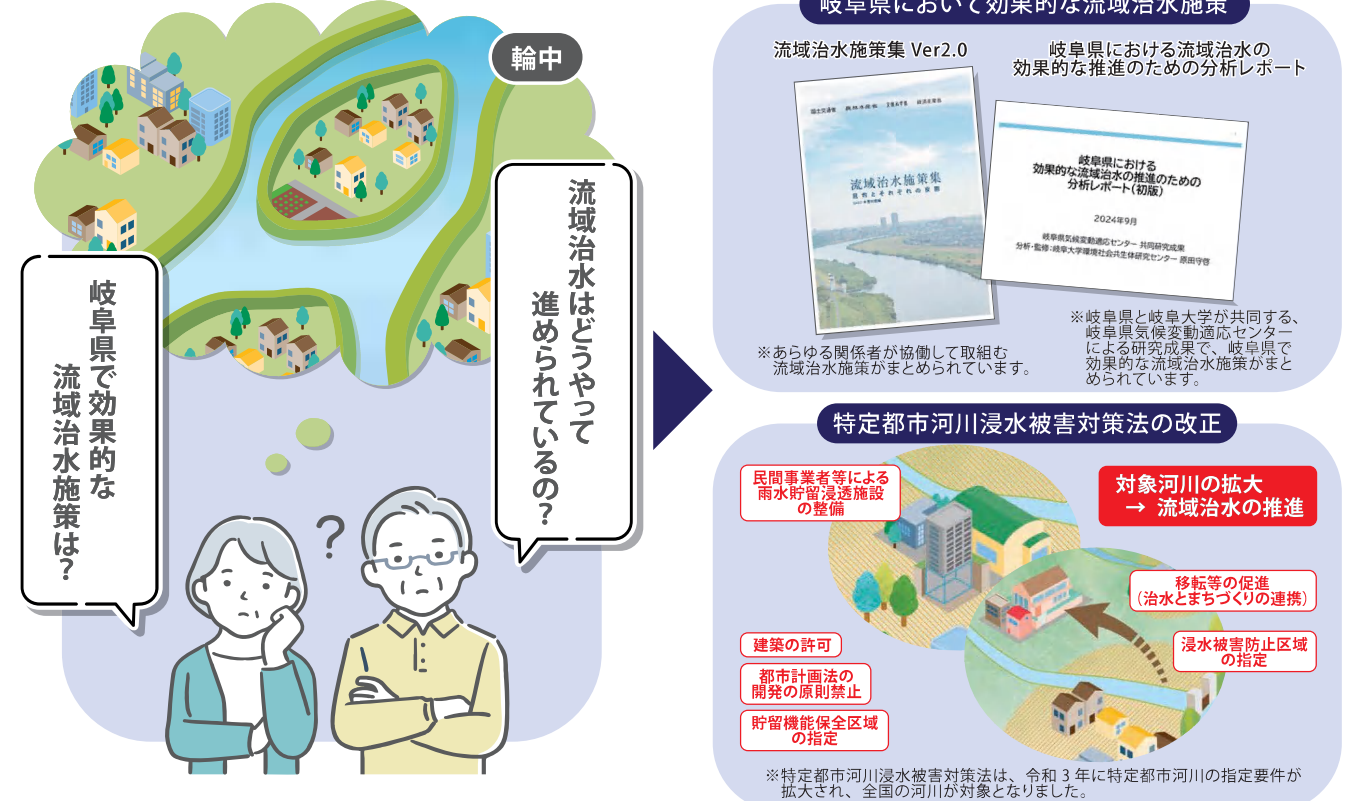


集水域の土地被覆割合に着目した流域タイプ区分



出典：岐阜県における流域治水の効果的な推進のための分析レポート（岐阜県気候変動適応センター共同研究成果）

流域治水の取り組みとは？



岐阜県において効果的な流域治水施策／特色ある取り組み・強化すべき取り組み

- 1-1. 氾濫を防ぐ・減らす（河川区域での対応）**
- #1 河川改修・ダム・遊水地等の整備
新五流総に基づき県土全体のバランスを考慮しながら計画的に整備を推進。
 - #2 ダム事前放流
 - #4 排水施設
排水機場等の長寿命化計画に基づく計画的な維持管理・更新を実施
 - ★自然共生川づくり（岐阜県版多自然川づくり）
川幅を拡げ河道内貯留機能を高めゆっくり流す
 - ★水防団活動
水防団活動支援、担い手を増やすための支援
- 1-2. 氾濫を防ぐ・減らす（集水域での対応）**
- #8, 9, 10 雨水貯留浸透施設
公共施設を利用した貯留施設
民間施設・事業者が設置する貯留施設
住宅における雨水貯留（雨水タンク）・浸透施設（浸透枳・雨庭）
 - #12 「田んぼダム」
水田に雨水を一時的に貯留し、ゆっくり排水
水田面積が大きい地域で内水氾濫の軽減、河川洪水ピーク流量低減が期待できる
 - ★伝統的治水施設の普及啓発・機能保全
霞堤・遊水地・輪中など
 - #11 既設のため池の防災機能の増強
 - #15 森林整備・治山
洪水緩和機能、水源涵養機能、炭素固定能を高める森林整備
 - #4, 8, 10, 16, 17 特定都市河川浸水被害対策法指定の活用
- 2. 被害対象を減らす（氾濫域での対応）**
- #19 浸水に強い住宅（嵩上げ・ピロティ）
内水氾濫が多い地域ではより効果が期待
 - #25 浸水被害軽減地区（盛土構造物等）
内水氾濫が多い地域に向けた水防法に基づく指定
 - ★輪中堤の保全による浸水域の縮小
現存する輪中堤の機能の再評価と保全
 - ★危機管理型水位計・河川カメラ・岐阜県川の防災情報（岐阜県・市町村）
- 3. 被害の軽減・早期復旧等（氾濫域での対応）**
- ★#26 県管理河川の浸水想定区域図の早期公開
 - #29 浸水対策（耐水化・止水壁・止水板・土嚢等の備え）
 - #28 迅速・円滑な避難
高齢化が進む中山間地域における安全な避難体制の確保
 - ★伝統的な浸水対策（例：水屋、自然堤防集落）
地域の知恵として見直し現代に活かす
 - ★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
 - ★防災リーダー育成
防災減災に関わる人材育成
 - ★浸水に備えた街並み（例：長良川鶴飼屋・川原町地区）
自助共助公助により浸水に強い街を実現
 - #31 災害復旧
災害時応援協定に基づく初動体制・復旧体制の確保

太枠：岐阜県として力を入れている取り組み
★印：岐阜県の独自性が高い取り組み
青字：今後有望な取り組み

#で示した番号は、流域治水施策集Ver2.0（国土交通省）の番号との対応を示す。

出典：岐阜県における流域治水の効果的な推進のための分析レポート（岐阜県気候変動適応センター共同研究成果）

第3次新五流域総合治水対策プランの概要

流域タイプ別の地域特性に応じた流域治水施策パッケージ

◇効果的な流域治水の取り組みは、流域の特徴に応じて異なります。効果的な取り組みの促進が求められます。



平野部で開発が進んだ流域

1-1: 氾濫を防ぐ・減らす(河川区域での対応)

#1 河川改修・ダム・遊水地等の整備	#2 ダム事前放流
★自然共生川づくり(岐阜県版多自然川づくり)	★水防団活動
#4 排水施設	

1-2: 氾濫を防ぐ・減らす(集水域での対応)

#8, 9, 10 雨水貯留浸透施設	#12 「田んぼダム」水田に雨水を一時的に貯留し、ゆっくり排水	農地における浸透能の向上
★伝統的治水施設の普及啓発・機能保全		
#11 既設のため池の防災機能の増強	#15 森林整備・治山	#4, 8, 10, 16, 17 特定都市河川浸水被害対策法指定の活用

2: 被害対象を減らす(氾濫域での対応)

#19 浸水に強い住宅(嵩上げ・ピロティ)	#25 浸水被害軽減地区(盛土構造物等)
★輪中堤の保全による浸水域の縮小	★危機管理型水位計・河川カメラ・岐阜県川の防災情報
#22 居住誘導区域・立地適正化計画の見直し・防災指針策定	

3: 被害の軽減・早期復旧等(氾濫域での対応)

★#26 県管理河川の浸水想定区域図の早期公開	#29 浸水対策(耐水化・止水壁・止水板・土嚢等の備え)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
#28 迅速・円滑な避難	★伝統的な浸水対策(例: 水屋、自然堤防集落)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
★防災リーダー育成 防災減災に関わる人材育成	★浸水に備えた街並み(例: 長良川鵜飼屋・川原町地区)	#31 災害復旧 災害時応援協力協定に基づく初動体制・復旧体制の確保



集水域が森林で氾濫域も広い流域

1-1: 氾濫を防ぐ・減らす(河川区域での対応)

#1 河川改修・ダム・遊水地等の整備	#2 ダム事前放流
★自然共生川づくり(岐阜県版多自然川づくり)	★水防団活動
#4 排水施設	

1-2: 氾濫を防ぐ・減らす(集水域での対応)

#8, 9, 10 雨水貯留浸透施設	#12 「田んぼダム」水田に雨水を一時的に貯留し、ゆっくり排水	農地における浸透能の向上
★伝統的治水施設の普及啓発・機能保全		
#11 既設のため池の防災機能の増強	#15 森林整備・治山	#4, 8, 10, 16, 17 特定都市河川浸水被害対策法指定の活用

2: 被害対象を減らす(氾濫域での対応)

#19 浸水に強い住宅(嵩上げ・ピロティ)	#25 浸水被害軽減地区(盛土構造物等)
★輪中堤の保全による浸水域の縮小	★危機管理型水位計・河川カメラ・岐阜県川の防災情報
#22 居住誘導区域・立地適正化計画の見直し・防災指針策定	

3: 被害の軽減・早期復旧等(氾濫域での対応)

★#26 県管理河川の浸水想定区域図の早期公開	#29 浸水対策(耐水化・止水壁・止水板・土嚢等の備え)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
#28 迅速・円滑な避難	★伝統的な浸水対策(例: 水屋、自然堤防集落)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
★防災リーダー育成 防災減災に関わる人材育成	★浸水に備えた街並み(例: 長良川鵜飼屋・川原町地区)	#31 災害復旧 災害時応援協力協定に基づく初動体制・復旧体制の確保



平野部で水田の割合が多い流域

1-1: 氾濫を防ぐ・減らす(河川区域での対応)

#1 河川改修・ダム・遊水地等の整備	#2 ダム事前放流
★自然共生川づくり(岐阜県版多自然川づくり)	★水防団活動
#4 排水施設	

1-2: 氾濫を防ぐ・減らす(集水域での対応)

#8, 9, 10 雨水貯留浸透施設	#12 「田んぼダム」水田に雨水を一時的に貯留し、ゆっくり排水	農地における浸透能の向上
★伝統的治水施設の普及啓発・機能保全		
#11 既設のため池の防災機能の増強	#15 森林整備・治山	#4, 8, 10, 16, 17 特定都市河川浸水被害対策法指定の活用

2: 被害対象を減らす(氾濫域での対応)

#19 浸水に強い住宅(嵩上げ・ピロティ)	#25 浸水被害軽減地区(盛土構造物等)
★輪中堤の保全による浸水域の縮小	★危機管理型水位計・河川カメラ・岐阜県川の防災情報
#22 居住誘導区域・立地適正化計画の見直し・防災指針策定	

3: 被害の軽減・早期復旧等(氾濫域での対応)

★#26 県管理河川の浸水想定区域図の早期公開	#29 浸水対策(耐水化・止水壁・止水板・土嚢等の備え)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
#28 迅速・円滑な避難	★伝統的な浸水対策(例: 水屋、自然堤防集落)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
★防災リーダー育成 防災減災に関わる人材育成	★浸水に備えた街並み(例: 長良川鵜飼屋・川原町地区)	#31 災害復旧 災害時応援協力協定に基づく初動体制・復旧体制の確保



集水域の大部分が森林の流域

1-1: 氾濫を防ぐ・減らす(河川区域での対応)

#1 河川改修・ダム・遊水地等の整備	#2 ダム事前放流
★自然共生川づくり(岐阜県版多自然川づくり)	★水防団活動
#4 排水施設	

1-2: 氾濫を防ぐ・減らす(集水域での対応)

#8, 9, 10 雨水貯留浸透施設	#12 「田んぼダム」水田に雨水を一時的に貯留し、ゆっくり排水	農地における浸透能の向上
★伝統的治水施設の普及啓発・機能保全		
#11 既設のため池の防災機能の増強	#15 森林整備・治山	#4, 8, 10, 16, 17 特定都市河川浸水被害対策法指定の活用

2: 被害対象を減らす(氾濫域での対応)

#19 浸水に強い住宅(嵩上げ・ピロティ)	#25 浸水被害軽減地区(盛土構造物等)
★輪中堤の保全による浸水域の縮小	★危機管理型水位計・河川カメラ・岐阜県川の防災情報
#22 居住誘導区域・立地適正化計画の見直し・防災指針策定	

3: 被害の軽減・早期復旧等(氾濫域での対応)

★#26 県管理河川の浸水想定区域図の早期公開	#29 浸水対策(耐水化・止水壁・止水板・土嚢等の備え)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
#28 迅速・円滑な避難	★伝統的な浸水対策(例: 水屋、自然堤防集落)	★新五流総地域委員会における大規模災害減災協議会の開催、県・市町の情報共有
★防災リーダー育成 防災減災に関わる人材育成	★浸水に備えた街並み(例: 長良川鵜飼屋・川原町地区)	#31 災害復旧 災害時応援協力協定に基づく初動体制・復旧体制の確保

太枠: 岐阜県として力を入れている取り組み ★印: 岐阜県の独自性が高い取り組み
#で示した番号は、流域治水施策集Ver2.0(国土交通省)の番号との対応を示す。

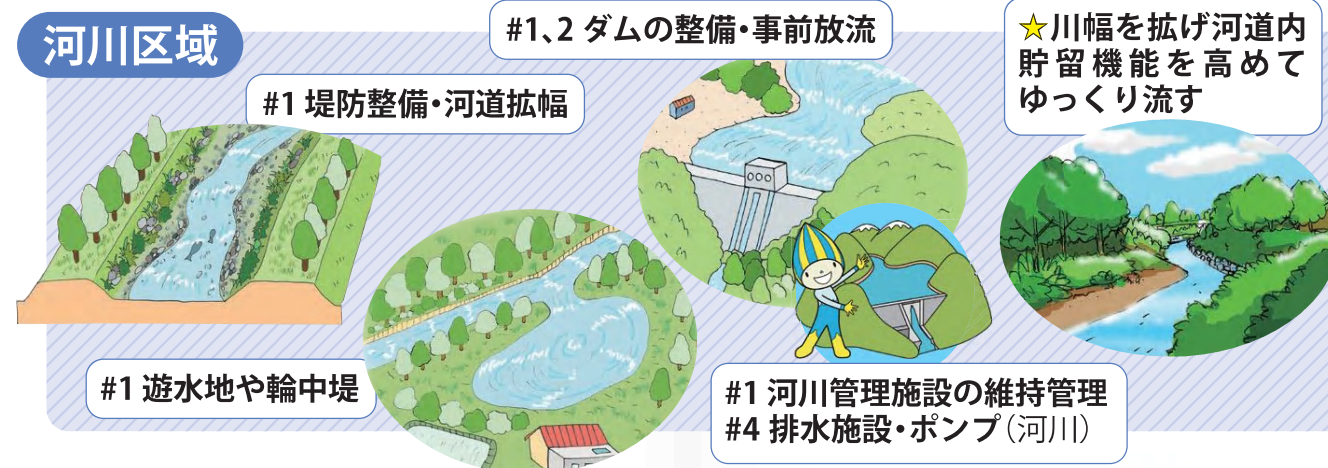
第3次新五流域総合治水対策プランの概要

五流域で取り組む流域治水施策

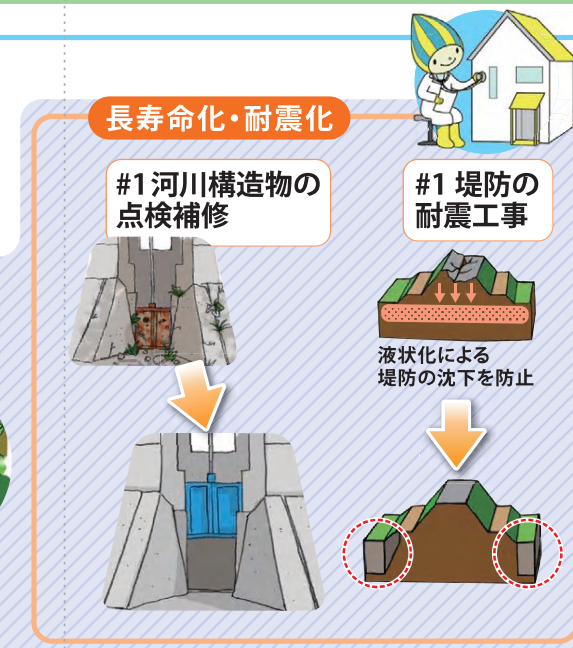
◇流域治水施策は、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減らす対策、③被害の軽減・早期復旧等の対策です。

1. 氾濫を防ぐ・減らす

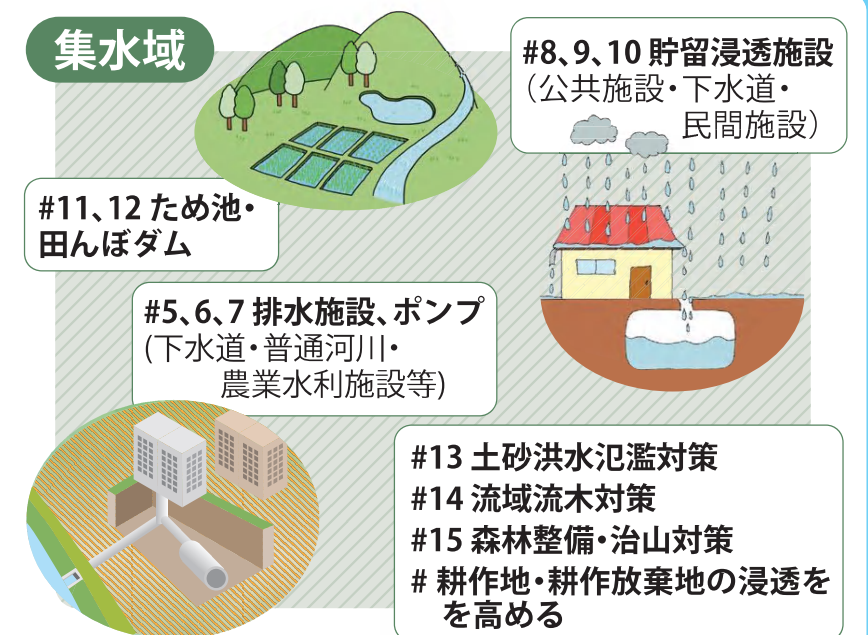
河川区域



長寿命化・耐震化

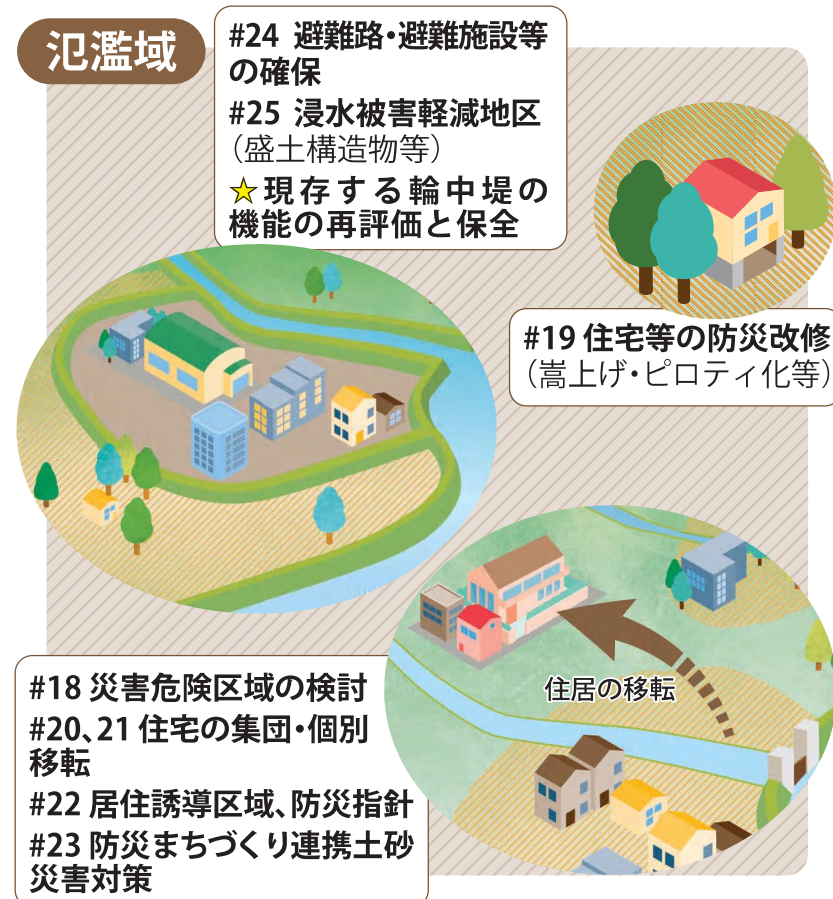


集水域



2. 被害対象を減らす

氾濫域



自然共生(ネイチャーポジティブ・グリーンインフラ)

3. 被害の軽減・早期復旧等

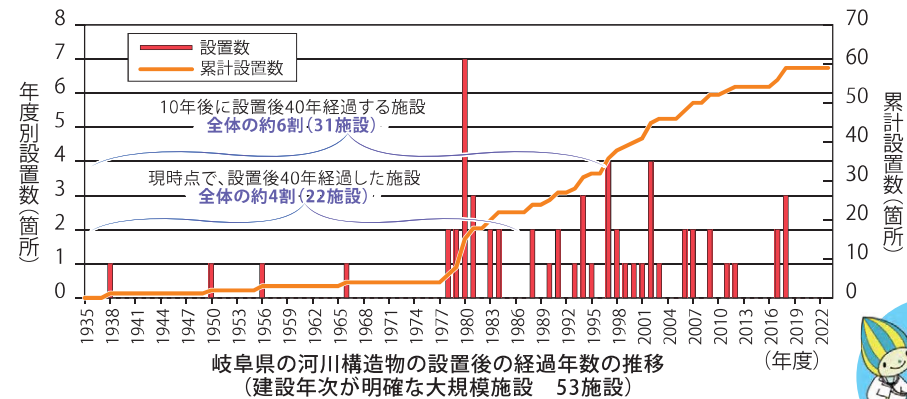
氾濫域



第3次新五流域総合治水対策プランの概要

河川構造物の長寿命化・耐震化

◇河川構造物の老朽化による機能不全を防ぐため、「岐阜県河川インフラ長寿命化計画」に基づき、予防保全型の維持管理を実施し、コスト削減と信頼性の確保を図ります。



○河川構造物の緊急的な整備・更新:全ての対策工事を完了。引き続き、効率的・効果的な予防保全型維持管理を継続する

◇南海トラフ地震などの大規模地震発生時にも河川堤防および河川構造物が機能を保持できるよう、耐震化を図り、大規模地震による水害の2次被害を防止します。

- 水門や樋管などの河川構造物:排水機場や樋門・樋管の耐震化はおおむね完了した。
- 河川堤防:限られた予算内で最も効率的な耐震化の検討・実施



DXの推進

◇新技術を活用した効率的・効果的な維持管理等により、強靱な社会インフラを維持し、災害時の迅速な復旧を実現します。また、ICTの活用により、生産性の向上と労働環境の改善を実現し、地域の守り手として持続可能な建設業を確立します。

■ドローンなど遠隔技術やデジタル情報を活用した点検や被災状況の把握

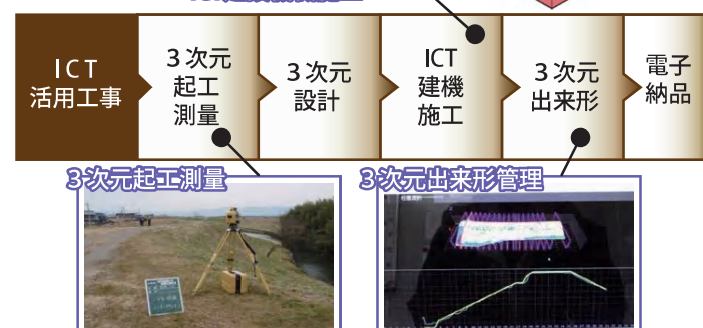
- 新技術の活用による点検効率化や安全性の向上
- 災害リスク情報の発信、災害時の迅速な被災状況の把握・復旧

GPS機能付きタブレットを用いた点検



■河川工事の施工段階においてICTを活用し、作業人員と施工日数を削減

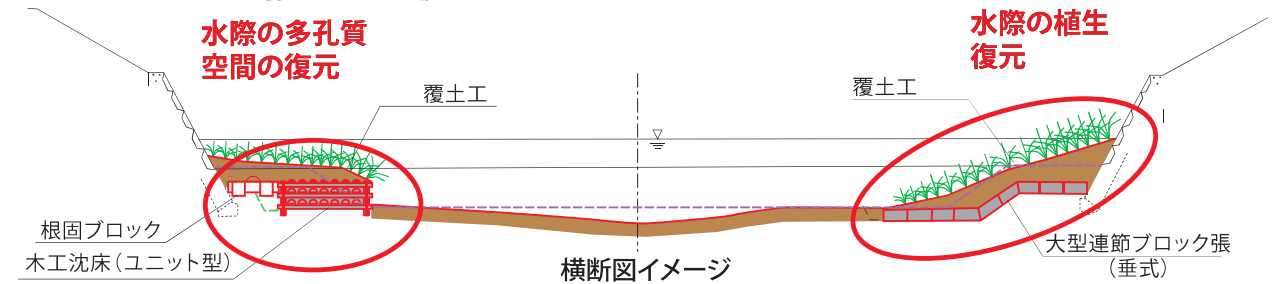
- 建設ICT活用工事の普及拡大
- 建設業者のBIM/CIMの導入に向けた検討
- ICTの担い手育成研修の実施



自然共生川づくりの定着

◇河川改修の際には、すべての河川において、動植物の生息・生育・繁殖の場の保全・再生・創出を目指す「自然と共生した川づくり」を更に推進し、定着させます。

■動植物の生息・生育・繁殖の場の保全・再生・創出



■これからの川づくりのイメージ



河川利用・まちづくりの加速化

◇水辺の魅力を地域の交流の場や観光資源として活かし、新たな県の魅力として発信するため、まちづくりと一体となった河川整備を行い、活力ある「自然環境を生かした県土」づくりの取り組みを加速化させます。



1.流域別の総合治水対策プラン

対象とする五つの流域

長良川流域

- ・長良川流域は、上流部が山地・高地帯、下流部が盆地・丘陵地となっている。
- ・下流域では、古くから水防共同体である輪中が発達し、治水をめぐる輪中間の争いもみられた。
- ・主要な洪水としては、昭和51年に安八町地先で本川堤防が決壊し、広域にわたる大水害となった。また、平成11年、平成16年にも甚大な浸水被害が発生した。近年では、平成30年に津保川で浸水被害が発生した。
- ・流域内では河道改修や支川の内水対策が進められ、治水安全度は向上しているが、引き続き治水対策が必要である。また、中上流部では内ヶ谷ダムの建設や、国による遊水地整備が進められている。
- ・長良川は、「清流長良川の鮎」や「本美濃紙」に象徴される歴史・文化と深く結びつき、「鵜飼」をはじめ、釣り、カヌー、ラフティングなどの利用が盛んである。
- ・流域内の糸貫川、川浦川などでは、まちづくりと一体となった河川整備（かわまちづくり）が実施されている。



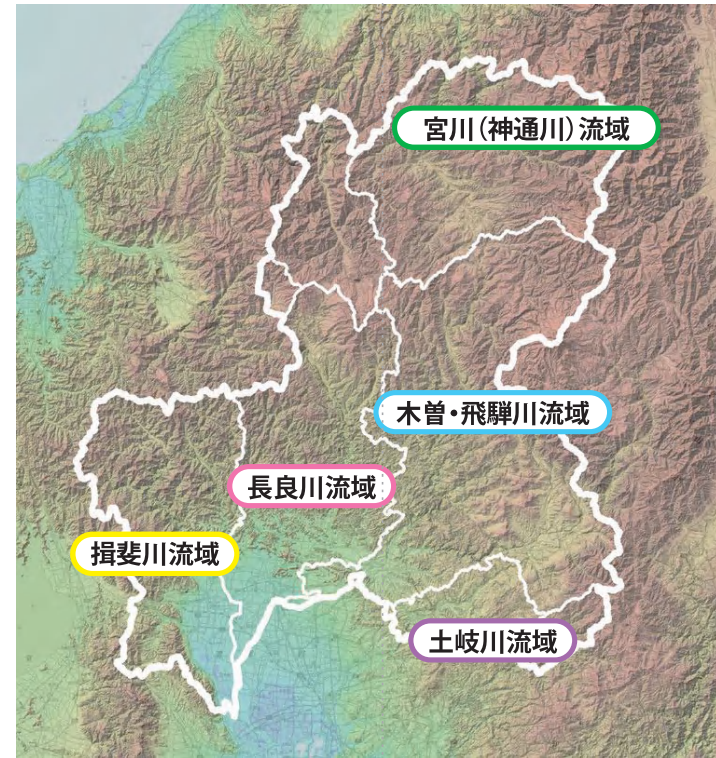
昭和51年浸水状況
(長良川・安八町)



鵜飼
(長良川・関市小瀬)

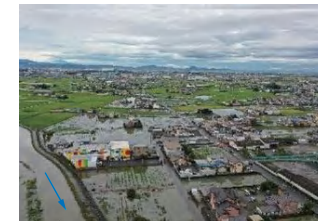


富加町かわまちづくり
(川浦川・富加町)



揖斐川流域

- ・揖斐川流域は、上流部では山間峡谷を流下し、濃尾平野に出る下流部では低平地が広がっている。
- ・下流域では、古くから水防共同体である輪中が発達し、治水をめぐる輪中間の争いもみられた。
- ・主要な洪水としては、昭和51年に大垣市をはじめ流域内各地で甚大な浸水被害が発生したほか、平成2年、平成14年、平成16年などにも相川、大谷川、水門川流域を中心に浸水被害が発生した。近年では、令和6年に杭瀬川、水門川、泥川、平野井川、大谷川沿いで浸水被害が発生した。
- ・徳山ダムの完成により治水安全度は大幅に向上したが、地域開発や市街化に伴い、支川の河川改修や内水対策を引き続き進める必要がある。
- ・各地に湧水があり、「水都」と呼ばれるとともに、県指定天然記念物のハリヨなどの希少種も生息している。
- ・上流部は「揖斐関ヶ原養老国定公園」などに指定され、下流部ではヤナやたらい舟による川下りなど、多様な河川利用が行われている。



令和6年浸水状況
(杭瀬川・池田町)



徳山ダム
(揖斐川町)



輪中堤
(輪之内町)

木曽・飛騨川流域

- ・木曽川流域は、その大部分を山地地形が占め、支川の多くが市街地を流下している。
- ・流域内の千旦林川周辺では、リニア中央新幹線の整備に伴い、今後のさらなる発展が期待されている。
- ・飛騨川沿川にわずかに広がる平地部には、下呂温泉があり、県外からの観光客も多い。
- ・主要な洪水としては、木曽川流域で昭和58年の美濃加茂水害のほか、平成22年に可児川などで浸水被害が発生した。近年では、令和2年、令和3年に飛騨川及びその支川で浸水被害が発生した。
- ・流域内では河道改修により治水安全度は向上しているが、引き続き治水対策が必要である。また、国により新丸山ダムの整備が進んでいる。
- ・木曽・飛騨川流域は、良好な河川環境と渓谷景観に恵まれ、「飛水峡」「恵那峡」などの景勝地を有し、「飛騨木曽川国定公園」や「恵那峡県立自然公園」に指定されるなど、多様で豊かな自然環境を有している。



令和2年浸水状況
(白川・白川町)



飛騨川散策路
(飛騨川・下呂市)



恵那峡
(木曽川・恵那市)

土岐川流域

- ・土岐川流域は、山地及び溪谷部に分断された複数の盆地からなり、多治見市などの中心市街地を貫流している。
- ・主要な洪水としては、観測史上最大となった平成元年及び平成11年に流域で甚大な浸水被害が発生し、平成23年にも浸水被害が発生した。
- ・土岐川は、狭窄部の改修に加え、支川の小里川で小里川ダムが平成16年3月に完成し、治水安全度が向上した。一方で、支川は、丘陵地での住宅地などの面的開発が進んでおり、これに対応する治水対策が必要である。
- ・土岐川は、河川敷の化石採取場や水辺の楽校を活用し、子どもたちの総合学習が活発に行われている。支川上流部は自然景観に優れ、「土岐三国山県立自然公園」に指定されている。
- ・土岐川本川では、まちづくりと一体となった河川整備（かわまちづくり）が行われている。



昭和58年浸水状況
(土岐川)



土岐川流域



小里川ダム
(恵那市)

宮川(神通川)流域

- ・宮川流域は、上流部に飛騨高原が広がり、高山盆地等が形成された急流河川となっている。
- ・宮川沿川では、飛騨地方の中心地として歴史的・伝統的な建物や町並みが残り、雪流しや防火用水など地域の生活にも利用されている。
- ・主要な洪水としては、昭和58年、平成11年、平成16年に甚大な土砂災害及び浸水被害が発生し、特に平成11年の水害では流木により被害が拡大した。近年では、平成26年に高山市内各所で大きな被害が発生した。
- ・災害対策による河川改修で治水安全度は向上しているが、改修途中の河川では引き続き治水対策が必要である。
- ・「あじめ峡」「桜野公園」などの景勝地のほか、「宇津江四十八滝県立自然公園」など、優れた自然環境が数多く残されている。
- ・江名子川の七夕祭り、大八賀川の白線流しなど、河川にまつわる行事も多く行われている。



平成16年浸水状況
(宮川・高山市)



宮川中橋
(宮川・高山市)



宇津江四十八滝
(高山市)

※現在含まれていない流域(庄川、九頭竜川、矢作川)については、災害の発生状況や社会情勢等を踏まえて柔軟に見直します。

I. 長良川流域における総合的な治水対策プラン

I-1 長良川中上流域における総合的な治水対策プランの全体概要

1.流域の概要

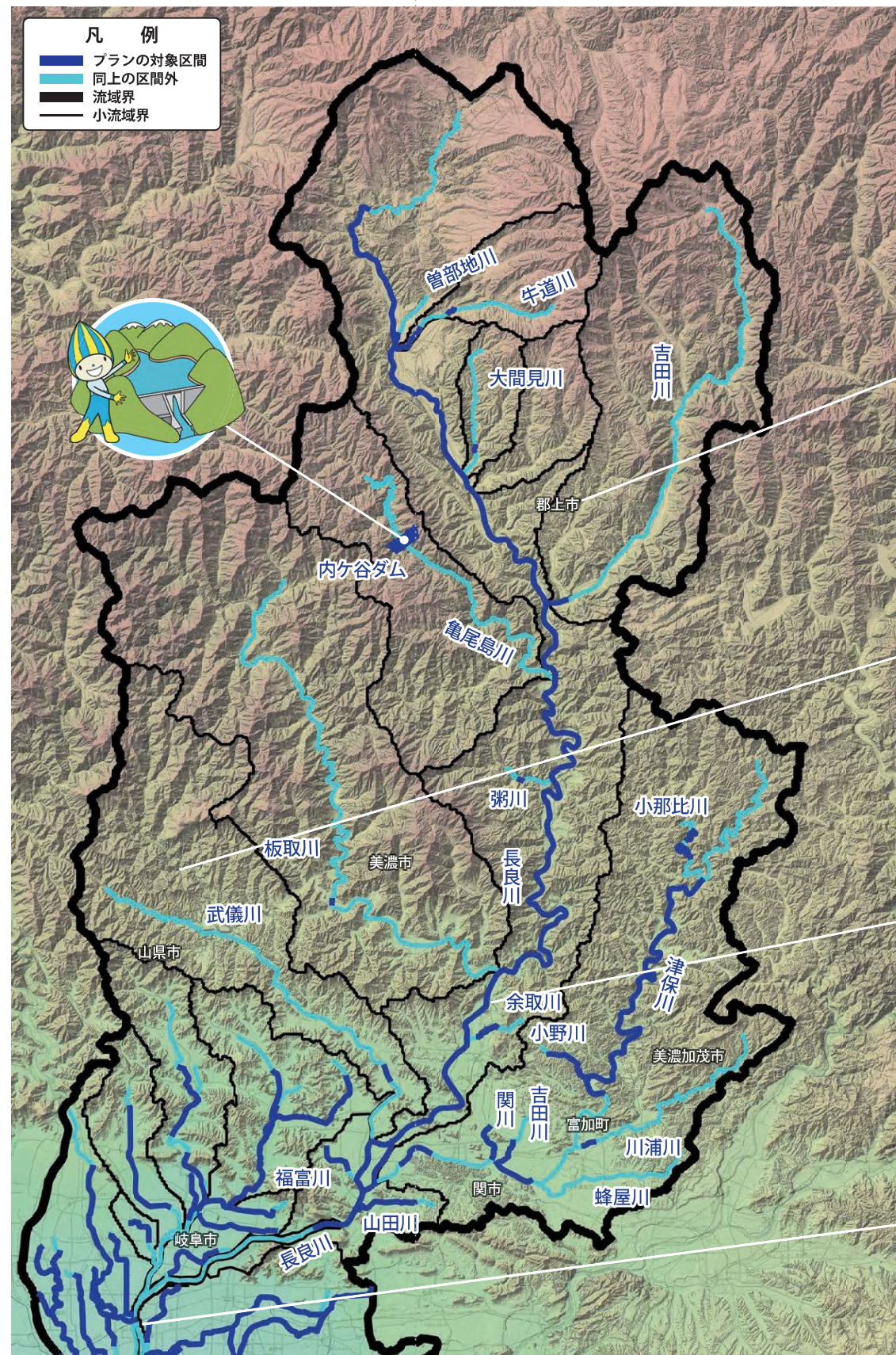
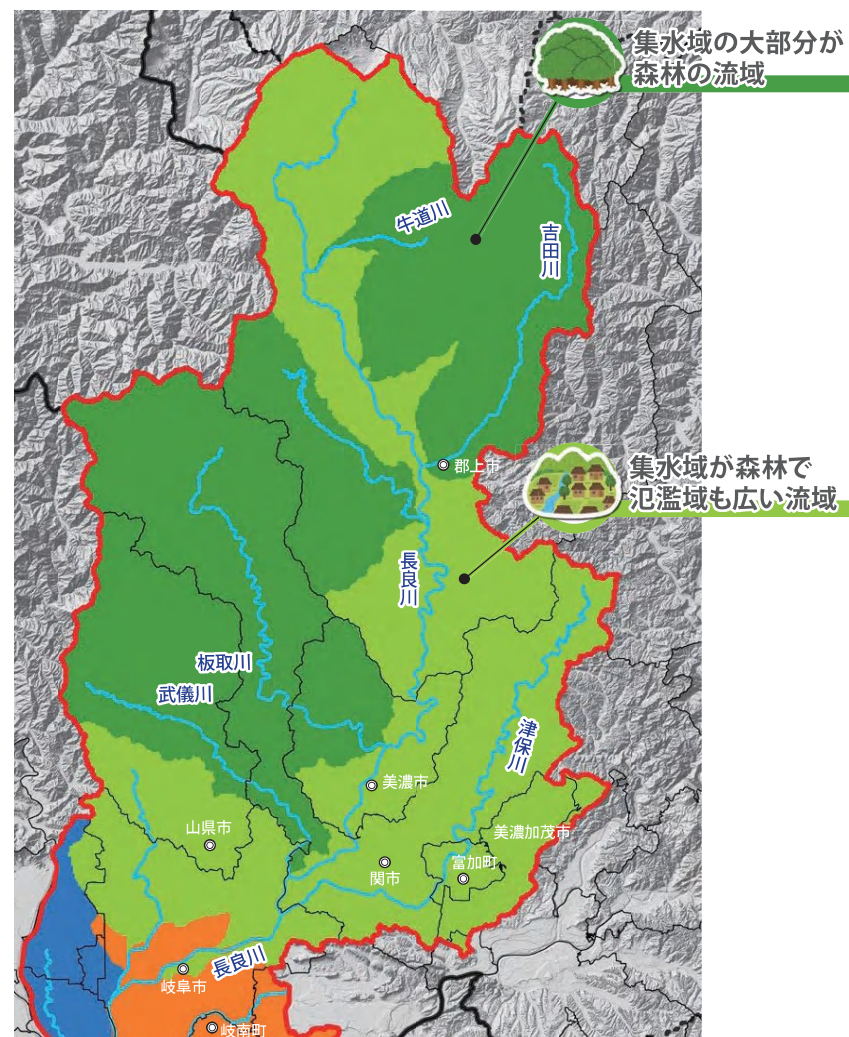
木曽川水系長良川は、岐阜県郡上市高鷲町の大日岳に源を発して、山間部を南流し、同市白鳥町において支川である曾部地川、牛道川等を、同市八幡町において吉田川、亀尾島川を合わせ、美濃市の北で最大の支川板取川を合わせたのち、中濃盆地の平地に出ます。さらに南流を続け、関市内で武儀川、津保川を合わせて岐阜市内を貫流し、金華山の麓に展開する岐阜市街に達します。長良川は、その下流から濃尾平野を南下し、伊自良川、犀川、境川、桑原川を合わせたのち、三重県桑名市の東部で揖斐川に合流して伊勢湾に注ぐ幹川流路延長166km、流域面積1,985km²(※1)の一級河川です。流域は11市6町にまたがり、流域内人口は約80万人(2020年国勢調査)です。

長良川中上流域の河川は、岐阜市、関市、美濃市、郡上市、富加町をはじめとする6市2町を流下しており、流域内の人口は約20万人(2020年国勢調査)です。

※1: 幹川流路延長、流域面積は国土交通省水管理・国土保全局資料より引用

2.流域の特徴

長良川中上流域は、郡上市、美濃市、関市、山県市では、「集水域の大部分が森林の流域」と「集水域が森林で氾濫域も広い流域」の両方が存在することが特徴です。また、美濃加茂市や富加町は、「集水域が森林で氾濫域も広い流域」が特徴です。



3.取り組んでいる主な流域治水の施策(令和8年5月時点)



★防災減災にかかわる人材育成

地域の小学校と連携した防災教育の実施(郡上市)



★自然共生川づくり

生活の場と自然の共生する川づくり(円原川・山県市)



★水防団活動

重要水防区間における合同巡視の実施(長良川・美濃市)



★県・市町村の情報共有

長良川流域新五流総地域委員会

※各取り組み施策の効果的な流域タイプを左上のイラストに示す

1.流域別の総合治水対策プラン

長良川流域(2/4)

I-2 長良川中上流域

における総合的な治水対策プランの段階的な進め方

河川改修規模一覧表

流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
長良川	長良川（板取川合流点上流）	1/10	1/10	1/30
	長良川（板取川合流点下流）	1/20	1/20	1/85
中上流支川	山田川	-	-	1/50
	津保川	※1	※1	1/30
	関川	-	1/20	1/20
	吉田川（きったがわ）	-	1/10	1/20
	小野川	-	-	1/30
	川浦川	-	-	1/20
	小那比川	※1	※1	1/30

※1：過去の浸水被害発生時と同規模の洪水に対応した改修

※2：内ヶ谷ダムの完成

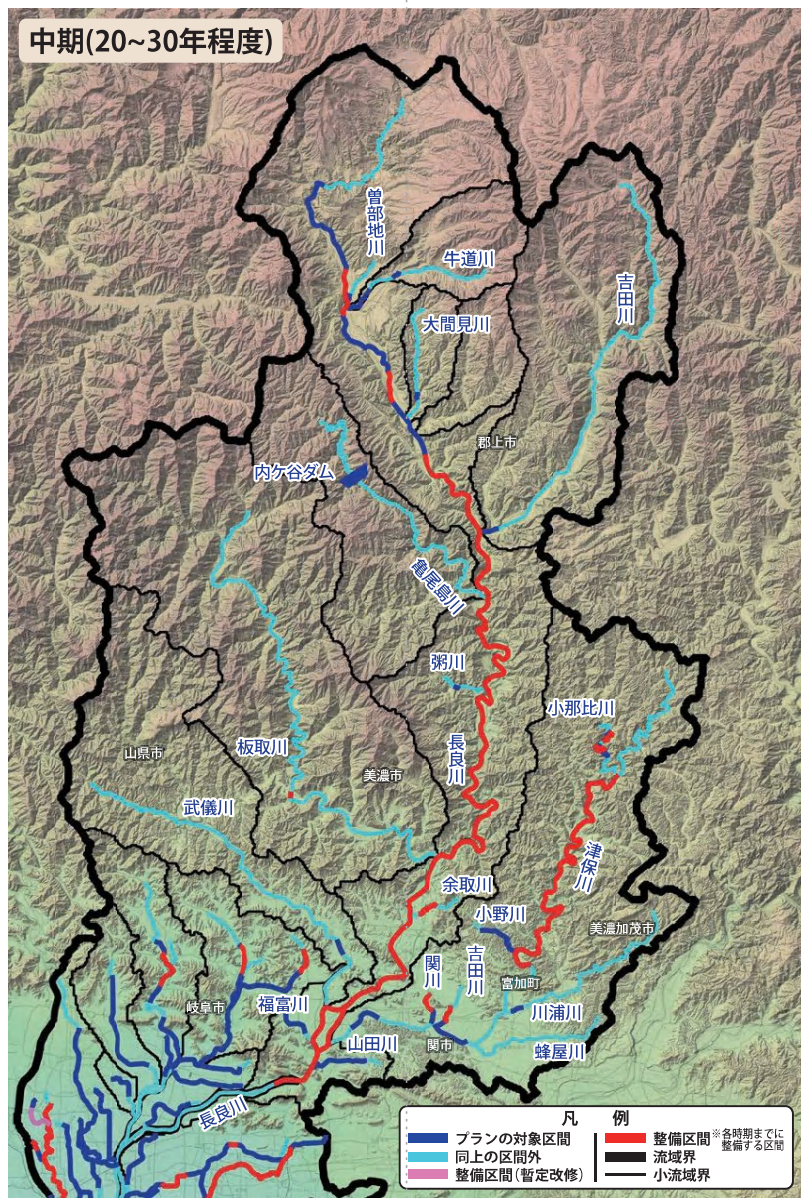
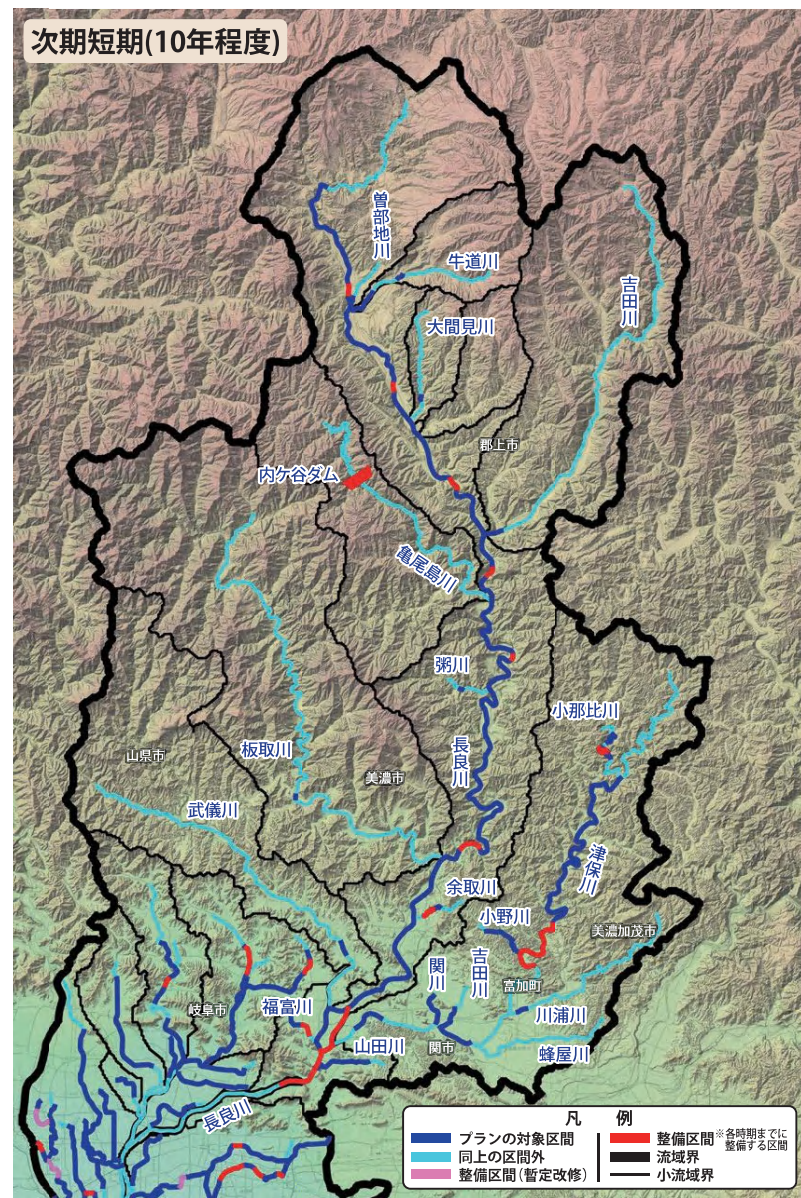
流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
中上流支川	福富川	1/20	-	1/20
	武儀川	-	-	1/30
	余取川	1/5	1/5	1/30
	板取川	-	1/30	1/30
	粥川	-	-	1/30
	亀尾島川（内ヶ谷ダム）	※2	-	-
	吉田川（よしだがわ）	-	-	1/30
	大間見川	-	-	1/30
	牛道川	-	-	1/30
	曾部地川	-	-	1/30

氾濫を防ぐ・減らす

◆河川区域での対策

- 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤
- ・市町が管理する河川の改修の実施（市町）
- ダム事前放流
- ・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の体制構築と実施（県、電力会社等）
- 河川構造物の長寿命化・耐震化
- ・岐阜県河川インフラ長寿命化計画に基づく、排水機場や樋門等の河川構造物の予防保全型の維持管理の実施（県）
- ・施設の点検による必要な整備・更新（県）

- 河川管理施設の維持管理
- ・河川維持管理計画に基づく、河川管理施設や許可工作物の維持管理の実施（県）
- 排水施設・ポンプ（河川）
- ・県管理の排水ポンプ車の運用（県）
- ・市町管理河川の排水施設の整備、維持管理の実施、または検討（市町）
- 川幅を拡げ河道内貯留機能を高めてゆっくり流す
- ・川幅拡幅による、生態環境保全と洪水ピーク流量の低減（県）
- ・市町管理河川における自然共生川づくりの実施、または検討（市町）



I-3 長良川中流支川流域 における総合的な治水対策プランの全体概要

1.流域の概要

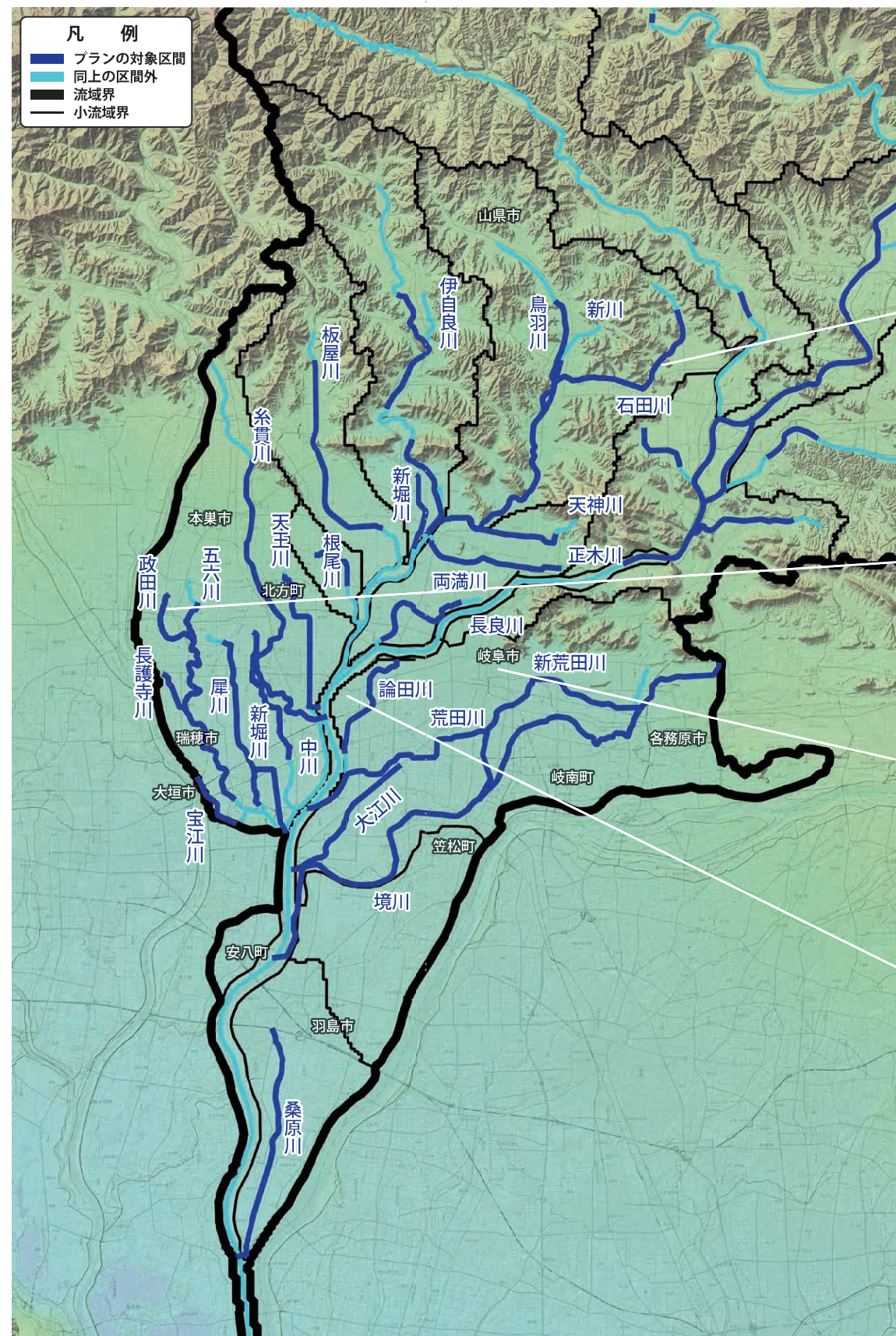
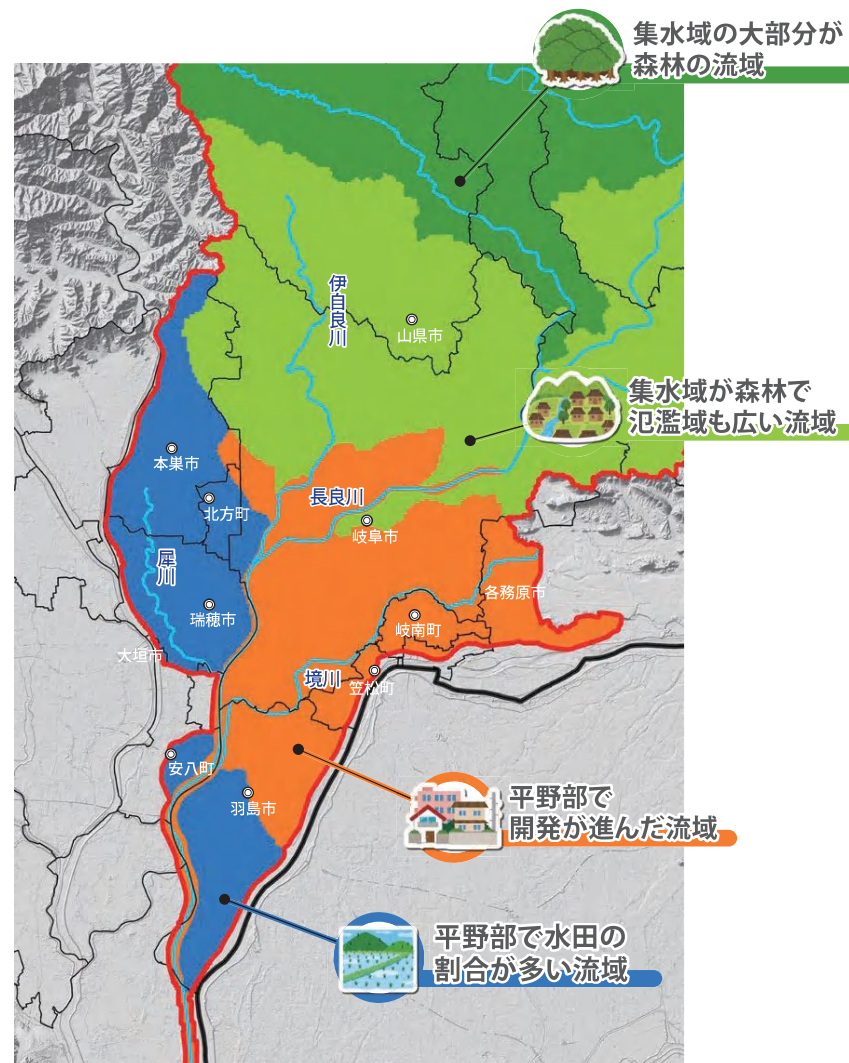
木曽川水系長良川は、岐阜県郡上市高鷲町の大日岳に源を発して、山間部を南流し、同市白鳥町において支川である曾部地川、牛道川等を、同市八幡町において吉田川、亀尾島川を合わせ、美濃市の北で最大の支川板取川を合わせたのち、中濃盆地の平地に出ます。さらに南流を続け、関市内で武儀川、津保川を合わせて岐阜市内を貫流し、金華山の麓に展開する岐阜市街に達します。長良川は、その下流から流尾平野を南下し、伊自良川、犀川、境川、桑原川を合わせたのち、三重県桑名市の東部で揖斐川に合流して伊勢湾に注ぐ幹川流路延長166km、流域面積1,985㎢（※1）の一級河川です。流域は11市6町にまたがり、流域内人口は約80万人（2020年国勢調査）です。

長良川中流支川流域の河川は、岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町をはじめとする7市4町を流下しており、流域内の人口は約60万人（2020年国勢調査）です。

※1:幹川流路延長、流域面積は国土交通省水管理・国土保全局資料より引用

2.流域の特徴

長良川中流支川流域は、山県市や岐阜市北部では、「集水域に森林が多く氾濫域も広い流域」が特徴です。また、岐阜市南部、各務原市、羽島市北部、岐南町、笠松町では、「平野部で開発の進んだ流域」が特徴です。さらに、本巣市、瑞穂市、羽島市南部、北方町、安八町等では、「平野部で水田の割合が多い流域」が特徴です。



3.取り組んでいる主な流域治水の施策(令和8年5月時点)



河床整備の実践による人材育成(石田川・岐阜市)



重要水防区間における合同巡視の実施(政田川・瑞穂市)



家庭・地域と連携した防災学習(DIG)の実施(岐阜市)



長良川流域新五流総地域委員会

※各取り組み施策の効果的な流域タイプを左上のイラストに示す

1.流域別の総合治水対策プラン

長良川流域(4/4)

I-4 長良川中流支川流域
における総合的な治水対策プランの段階的な進め方

河川改修規模一覧表

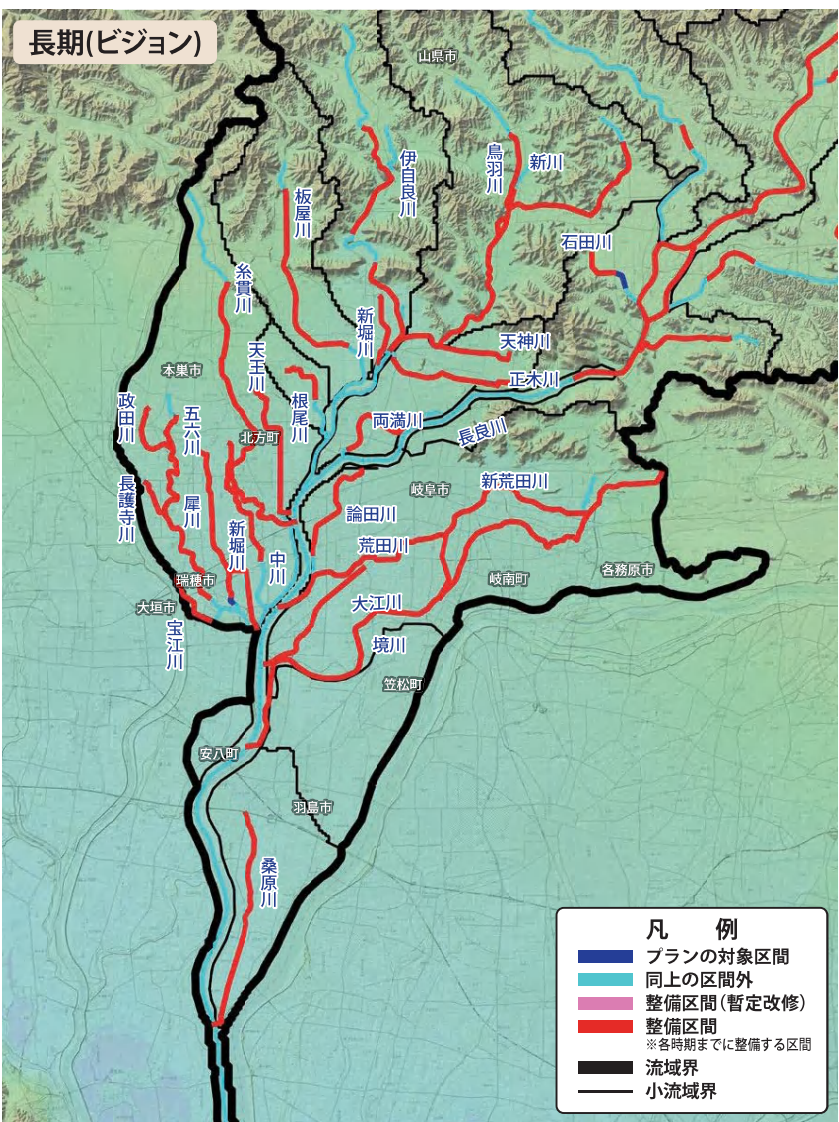
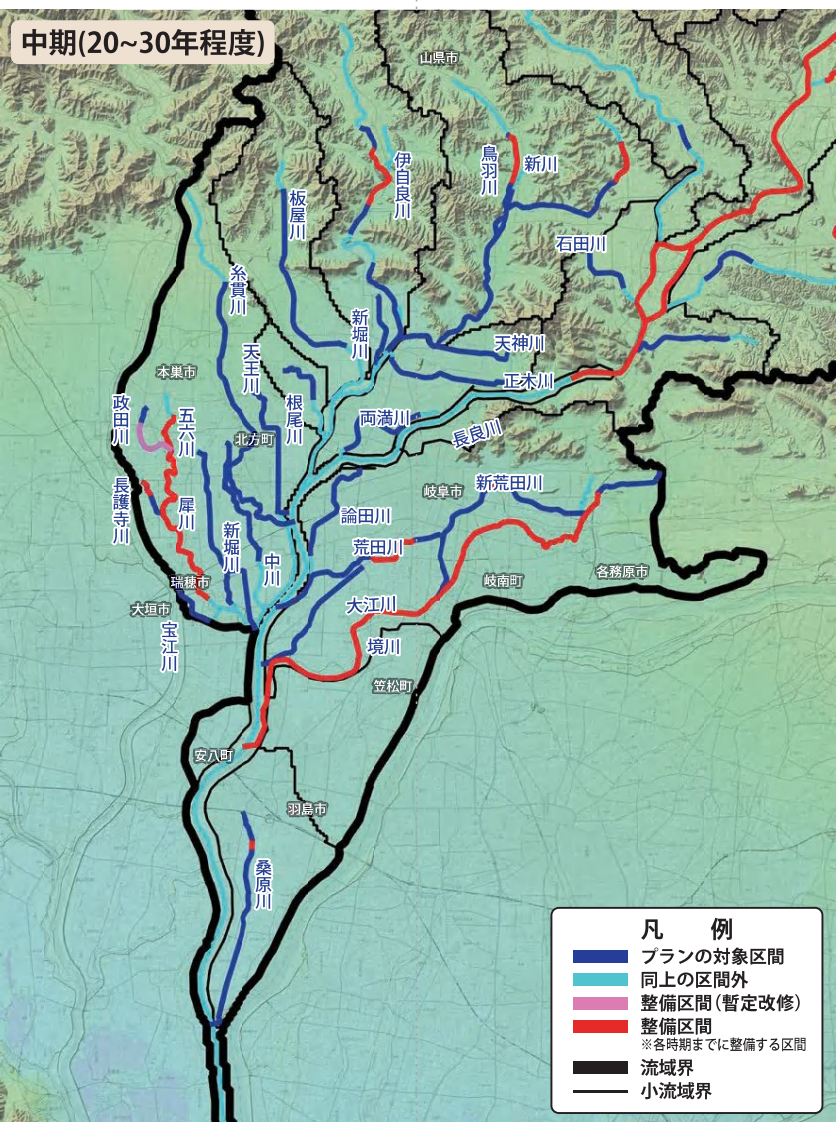
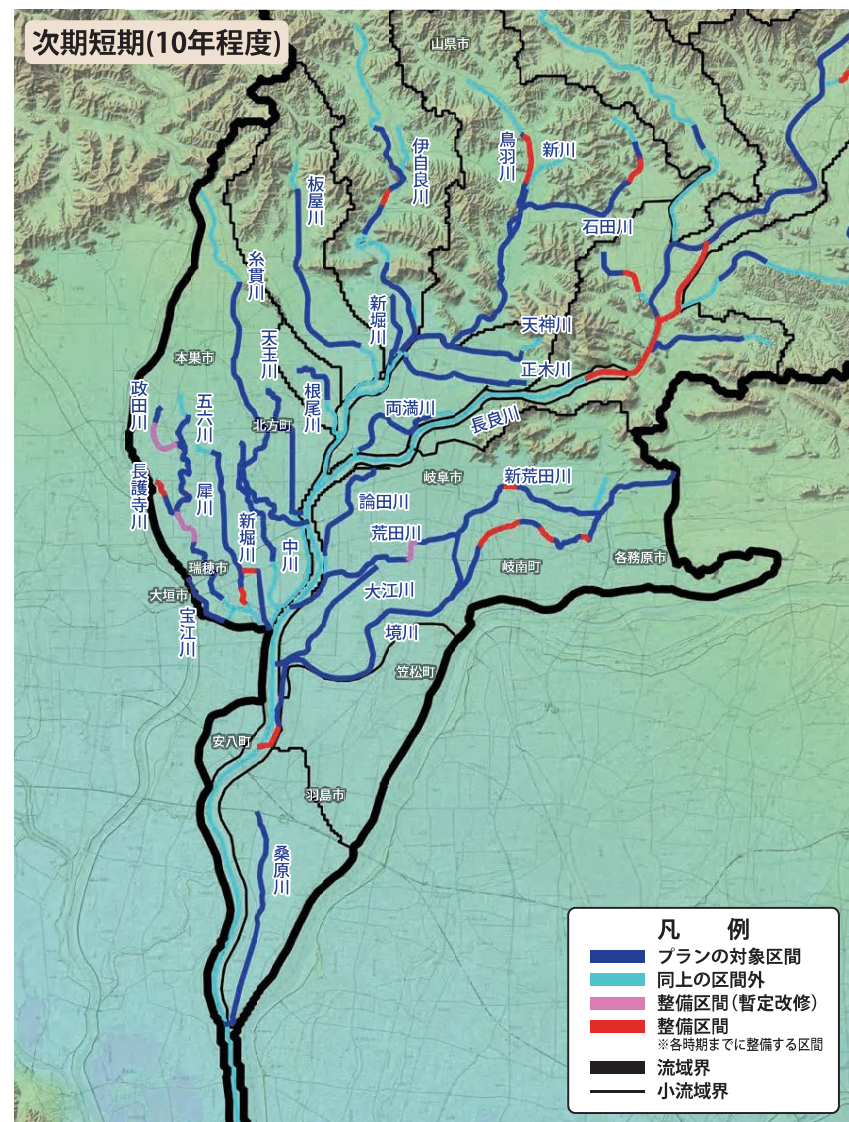
流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
犀川	犀川	1/2	1/5	1/80
	天王川	-	-	1/50
	中川	-	-	1/30
	新堀川	1/5	-	1/10
	五六川	1/2	-	1/80
	宝江川	-	-	1/30
	長護寺川	1/5	1/5	1/30
	政田川	1/2	1/2	1/30
	糸貫川	-	-	1/50
	天王川放水路	-	-	1/50
境川	境川	1/5	1/5	1/50
	新荒田川	1/5	1/5	1/50
	大江川	-	-	1/30
境川	荒田川	1/4	1/5	1/50
	論田川	-	-	1/50
	桑原川	-	1/5	1/30
	伊自良川	1/5	1/5	1/20
	根尾川	-	-	1/30
	板屋川	-	-	1/50
	新堀川	-	-	1/50
	正木川	-	-	1/30
	鳥羽川	1/5	1/5	1/20
	天神川	-	-	1/20
	新川	-	-	1/20
	石田川	1/5	1/5	1/20
	両満川	-	-	1/50

氾濫を防ぐ・減らす

◆河川区域での対策

- 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤
- ・市町が管理する河川の改修の実施(市町)
- ダム事前放流
- ・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の体制構築と実施(県、電力会社等)
- 河川構造物の長寿命化・耐震化
- ・岐阜県河川インフラ長寿命化計画に基づく、排水機場や樋門等の河川構造物の予防保全型の維持管理の実施(県)
- ・施設の点検による必要な整備・更新(県)

- 河川管理施設の維持管理
- ・河川維持管理計画に基づく、河川管理施設や許可工作物の維持管理の実施(県)
- 排水施設・ポンプ(河川)
- ・県管理の排水ポンプ車の運用(県)
- ・市町管理河川の排水施設の整備、維持管理の実施、または検討(市町)
- 川幅を拡げ河道内貯留機能を高めてゆっくり流す
- ・川幅拡幅による、生態環境保全と洪水ピーク流量の低減(県)
- ・市町管理河川における自然共生川づくりの実施、または検討(市町)



Ⅱ. 揖斐川流域における総合的な治水対策プラン

Ⅱ-1 揖斐川流域

における総合的な治水対策プランの全体概要

1.流域の概要

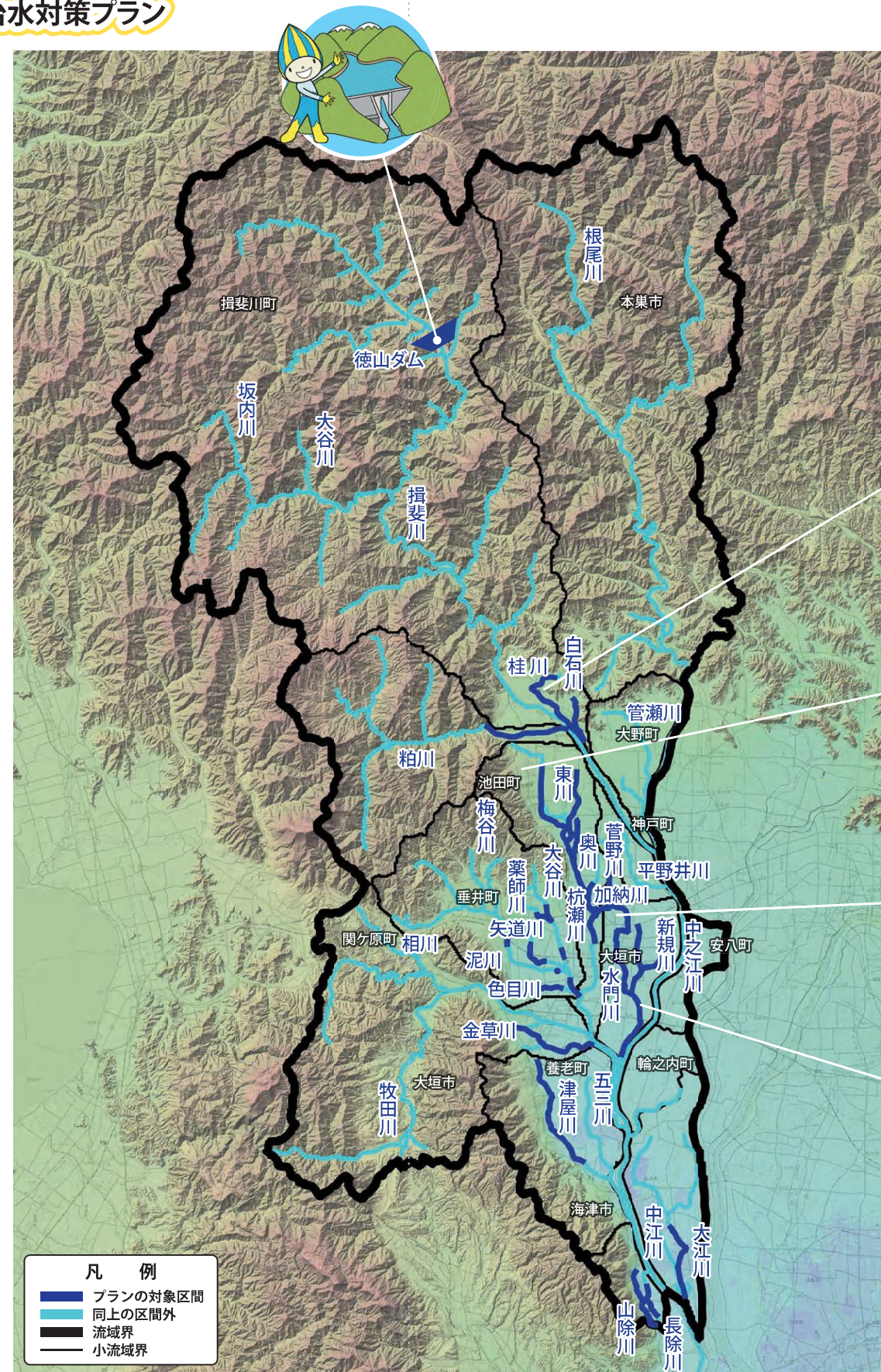
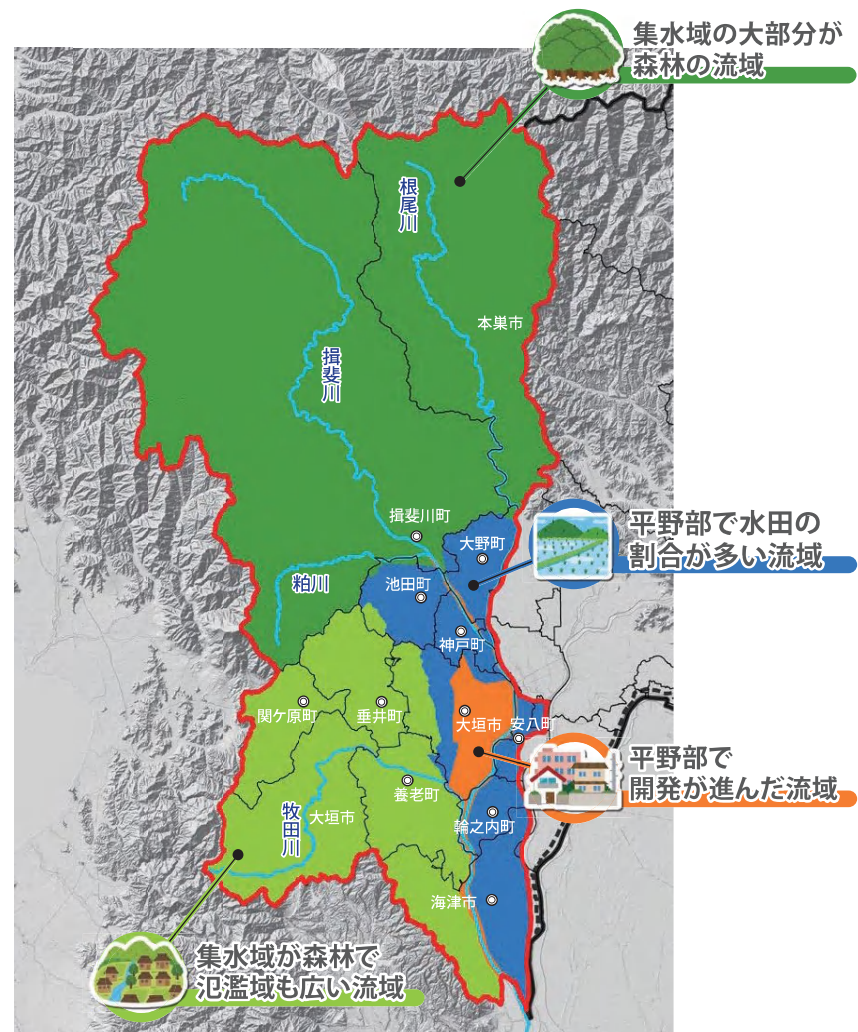
木曽川水系揖斐川は、その源を岐阜県揖斐郡揖斐川町の冠山(標高1,257m)に発し、山間渓谷を流れ、同町横山において右支川坂内川を合せ、再び渓谷を貫流したのち、同町において濃尾平野に出ます。さらに南流を続けながら、右支川粕川を合わせ、安八郡神戸町において、左から最大の支川である根尾川を、養老郡養老町池田において有力な右支川牧田川を、海津市において津屋川、大江川などを合せた後、三重県桑名市の東で長良川を合わせ伊勢湾に注ぐ河川延長121km、流域面積1,840㎢(※1)の一級河川です。

岐阜県内(三重県境より上流)の揖斐川流域は、大垣市、海津市、本巣市、安八町、輪之内町、神戸町、池田町、大野町、揖斐川町、垂井町、関ヶ原町をはじめとする3市9町の市町域からなり、流域関係市町の人口は約39万人(2020年国勢調査)です。

※1:幹川流路延長、流域面積は国土交通省水管理・国土保全局資料より引用

2.流域の特徴

揖斐川流域は、揖斐川町、本巣市では、「集水域の大部分を森林が占める流域」が特徴です。また、海津市西部、養老町等では、「集水域に森林が多く氾濫域も広い流域」が特徴です。さらに、大垣市の一部、海津市東部、大野町、輪之内町等では、「平野部で水田の割合が多い流域」が特徴となっており、大垣市は「平野部で開発が進んだ流域」も特徴になっています。



3.取り組んでいる主な流域治水の施策(令和8年5月時点)



親水性の高い環境を創出した川づくり(桂川・揖斐川町)



地域の小学校と連携した防災教育の実施(池田町)



校庭に雨水貯留浸透施設を整備(大垣市)



重要水防箇所における合同巡視の実施(水門川・大垣市)

※各取り組み施策の効果的な流域タイプを左上のイラストに示す

II-2 揖斐川流域

における総合的な治水対策プランの段階的な進め方

河川改修規模一覧表

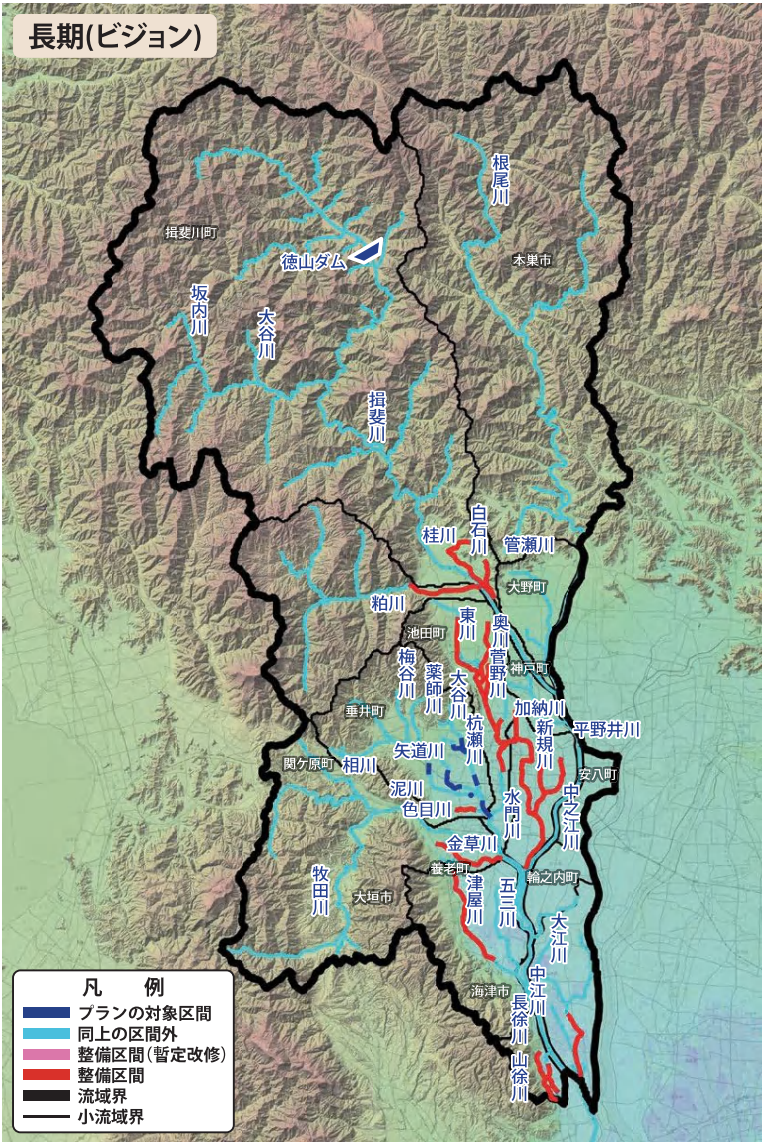
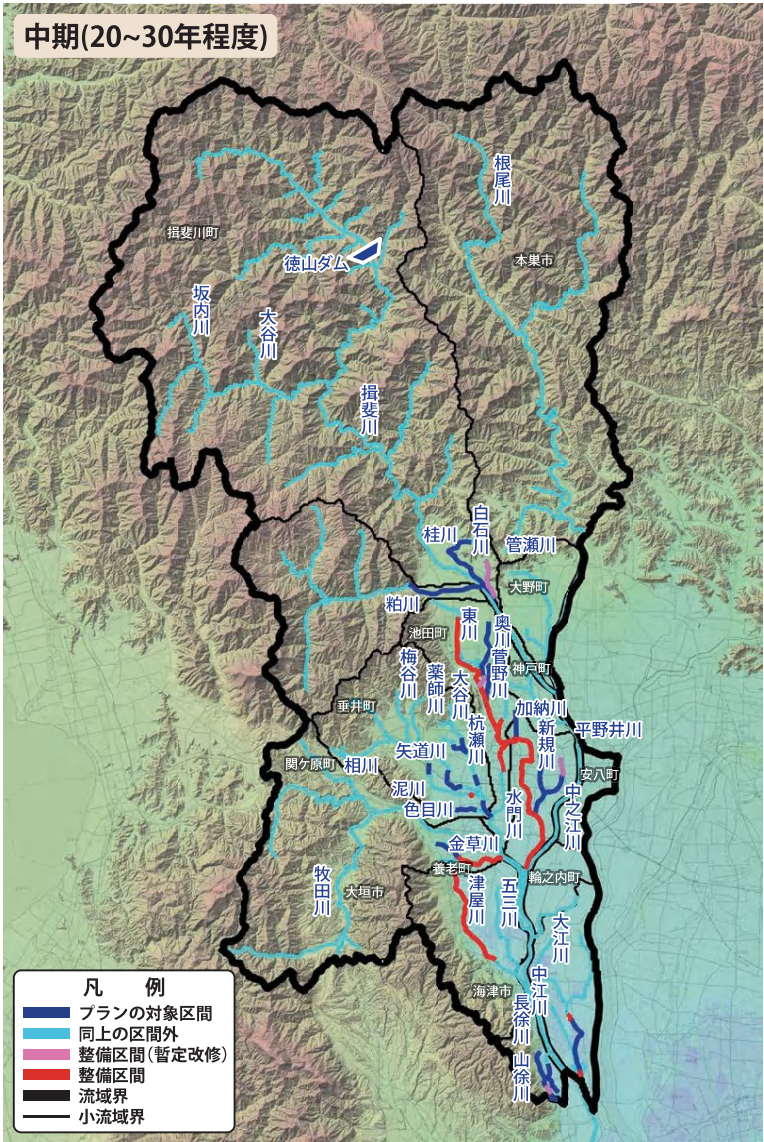
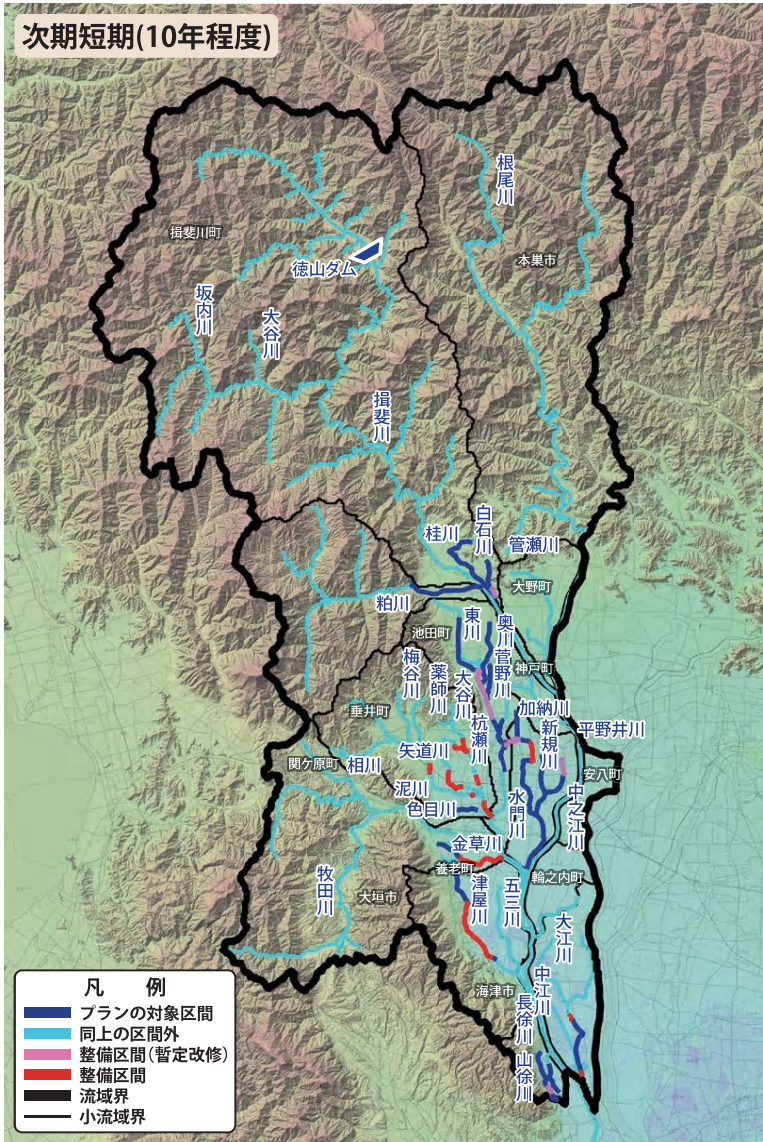
流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
揖斐川	大江山	1/50	1/50	1/50
	山除川	1/1.2	1/1.2	1/30
	長除川	-	-	1/5
	津屋川	1/50	1/50	1/50
	金草川	1/10	1/10	1/10
	杭瀬川	1/5	1/50	1/50
	相川	1/50	-	-
	色目川	-	-	1/10
	泥川	1/20(※1)	※1	-
	大谷川	1/50	-	-
	矢道川	1/50	-	-

※1：排水機場の設置
※2：背水影響対策の実施

流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
揖斐川	菅野川	-	※2	1/20(※2)
	奥川	-	-	1/10
	東川	-	1/5	1/50
	水門川	1/5	1/50	1/50
	中之江川	1/5	1/5	1/50
	新規川	-	-	1/50
	加納川	-	-	1/50
	桂川	-	-	1/30
	白石川	1/5	1/5	1/10
	粕川	-	-	1/50

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす

- ◆河川区域での対策
- 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤
・準用河川における河川改修の実施・継続、または検討(市町)
 - ダム事前放流
・既存ダムにおける事前放流等の体制構築と実施(国、ダム管理者)
 - 排水施設・ポンプ(河川)
・県管理の排水ポンプ車の運用(県)
・準用河川排水施設の整備・維持管理(市町)
 - 河川構造物の長寿命化・耐震化
・旧水門川排水機場や粕川床止めなど現在施設の老朽化が進行している施設に対し、計画的に点検や整備を行い、延命化を実施(県)
・山除川排水機場にて、耐震化を実施(県)
- 河川管理施設の維持管理
- ・河川管理施設や許可工作物を良好な状態で維持するため、河川維持管理計画に従った効率的かつ計画的な管理の実施(県)
 - 河川幅を拡げ河道内貯留機能を高めてゆっくり流す
・河道拡幅による、生態環境保全と洪水ピーク流量の低減(県、市町)
・市町管理河川における自然共生川づくりの実施、または検討(市町)
- ・排水機場や樋門等の河川構造物については、岐阜県河川インフラ長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理を効率的かつ効果的に実施(県)
- ・河川堤防の耐震化の調査と検討(県)
- ・河川堤防の耐震化は、限られた予算内で最も効率的な対策を検討・実施(県)



Ⅲ. 木曽・飛騨川流域における総合的な治水対策プラン

Ⅲ-1 木曽・飛騨川流域における総合的な治水対策プランの全体概要

1.流域の概要

木曽川水系木曽川は、その源を長野県木曽郡木祖村鉢盛山に発し、同県東南の木曽地域から岐阜県・愛知県を流下し伊勢湾に注ぐ幹川延長229km、流域面積5,275km²(※1)の一級河川である。流域最下流に位置する太田盆地(美濃加茂市)で最大支川の飛騨川が流入します。

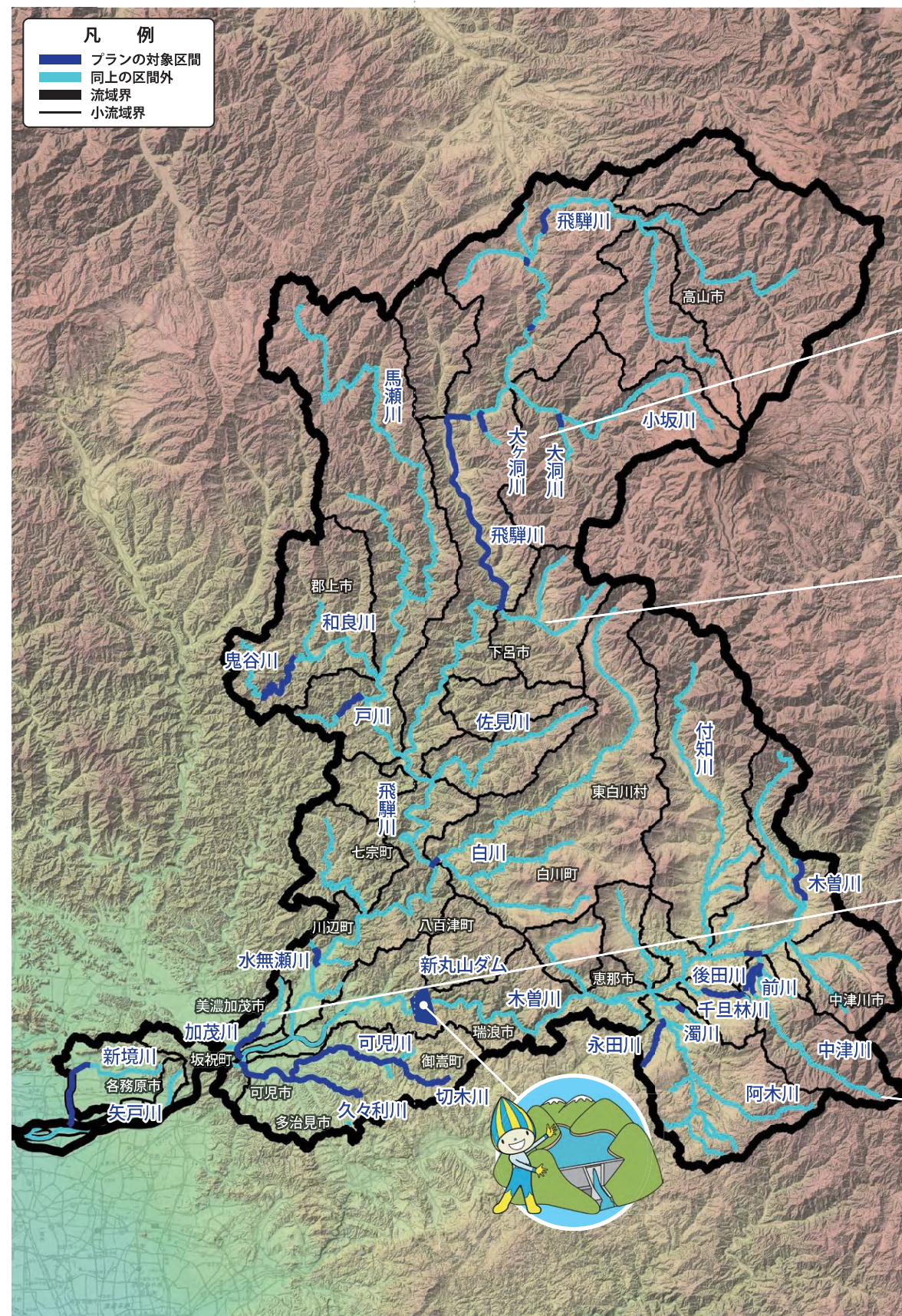
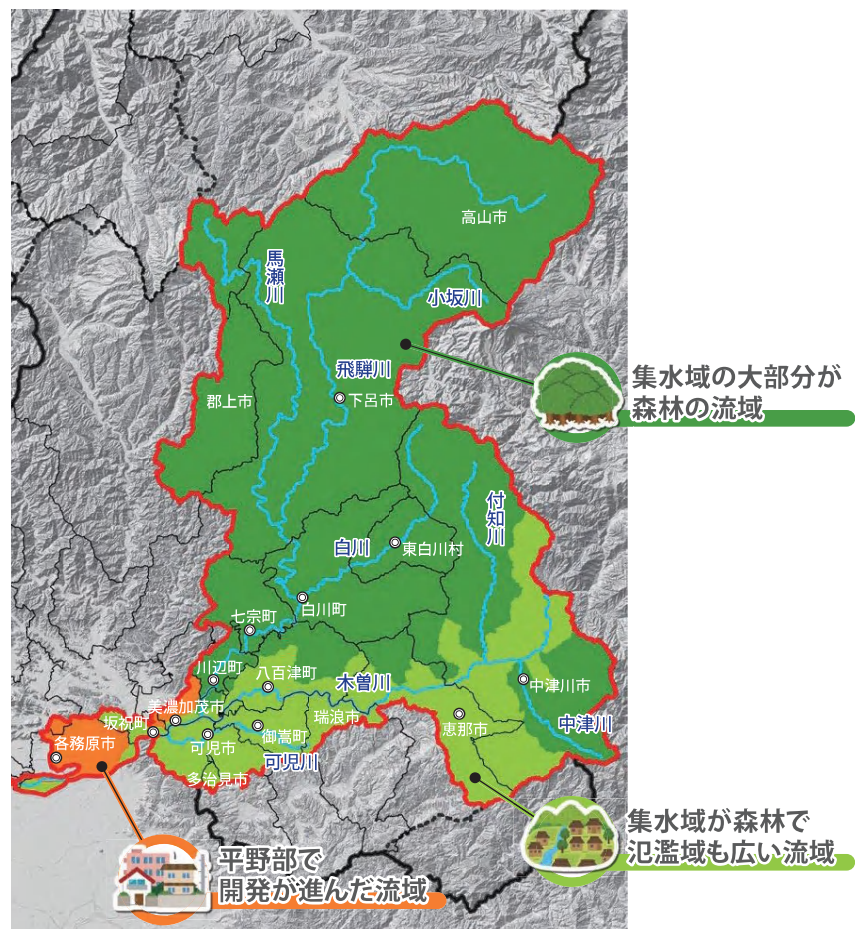
岐阜県内(長野県境より下流)の木曽川本川の流域は、岐阜市、各務原市、可児市、関市、美濃加茂市、瑞浪市、多治見市、恵那市、中津川市、坂祝町、御嵩町、八百津町の9市3町の市町村からなり、流域内人口は約41万人(2020年国勢調査)です。

飛騨川は、その源を高山市高根町乗鞍岳に発し、途中、御嶽山北麓や郡上城などからの多くの支川を合わせながら美濃加茂市に至ります。飛騨川流域は、下呂市、郡上市、高山市、川辺町、七宗町、白川町、東白川村を始めとする5市4町1村の市町村域からなり、流域内人口は約8万人(2020年国勢調査)です。

※1: 幹川流路延長、流域面積は国土交通省水管理・国土保全局資料より引用

2.流域の特徴

木曽・飛騨川流域は、下呂市、高山市、白川町、七宗町等では、「集水域の大部分を森林が占める流域」が特徴です。また、中津川市、恵那市、八百津町等では、「集水域の大部分を森林が占める流域」と「集水域が森林で氾濫域も広い流域」の両方が存在することが特徴です。可児市、瑞浪市等では、「集水域に森林が多く氾濫域も広い流域」が特徴です。さらに、各務原市や美濃加茂市等では、「平野部で開発が進んだ流域」が特徴です。



3.取り組んでいる主な流域治水の施策(令和8年5月時点)



※各取り組み施策の効果的な流域タイプを左上のイラストに示す

1.流域別の総合治水対策プラン

木曽・飛騨川流域(2/2)

Ⅲ-2 木曽・飛騨川流域

における総合的な治水対策プランの段階的な進め方

河川改修規模一覧表

流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
木曽川	木曽川(上地地区)	-	-	1/50
	木曽川(坂下・山口地区)	-	-	1/50
	新境川	-	-	1/30
	可児川	1/70	1/70	1/100
	久々利川	1/20	1/30	1/30
	切木川	1/10	-	-
	加茂川	1/10	1/30	1/30
	濁川	1/10	1/10	1/10
	永田川	1/30	1/30	1/30
	千旦林川	1/20	1/20	1/20

※1：過去の浸水被害発生時と同規模の洪水に対応した改修

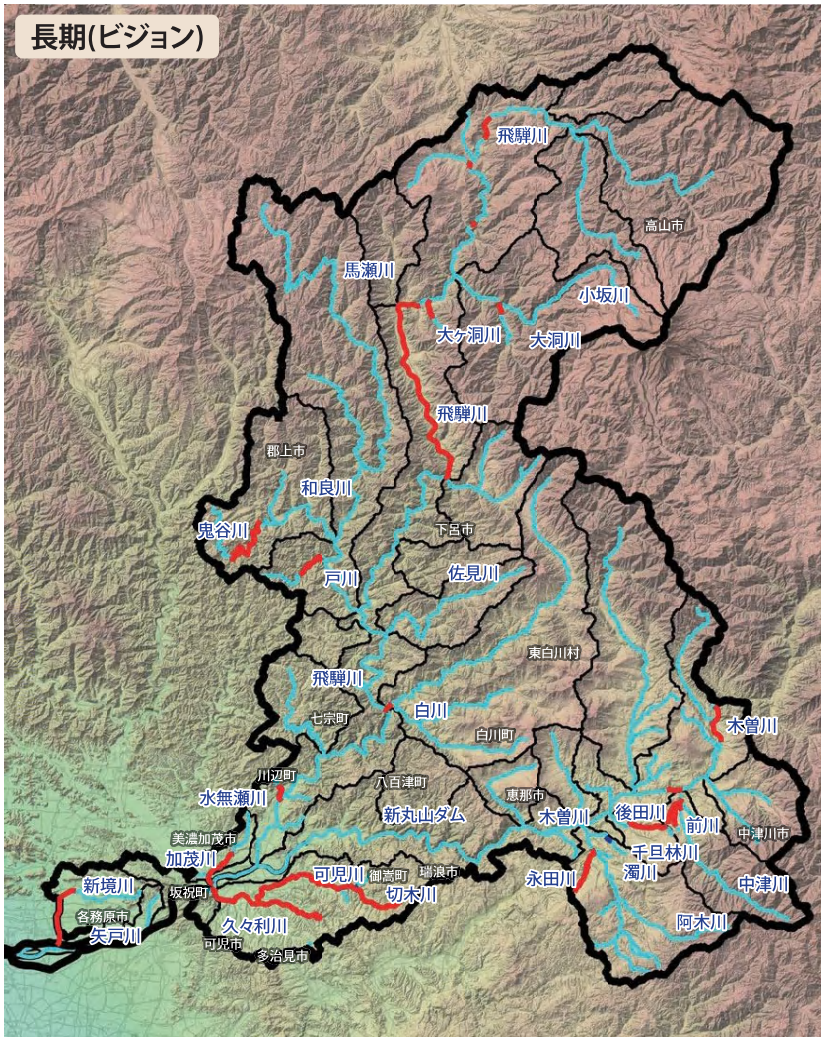
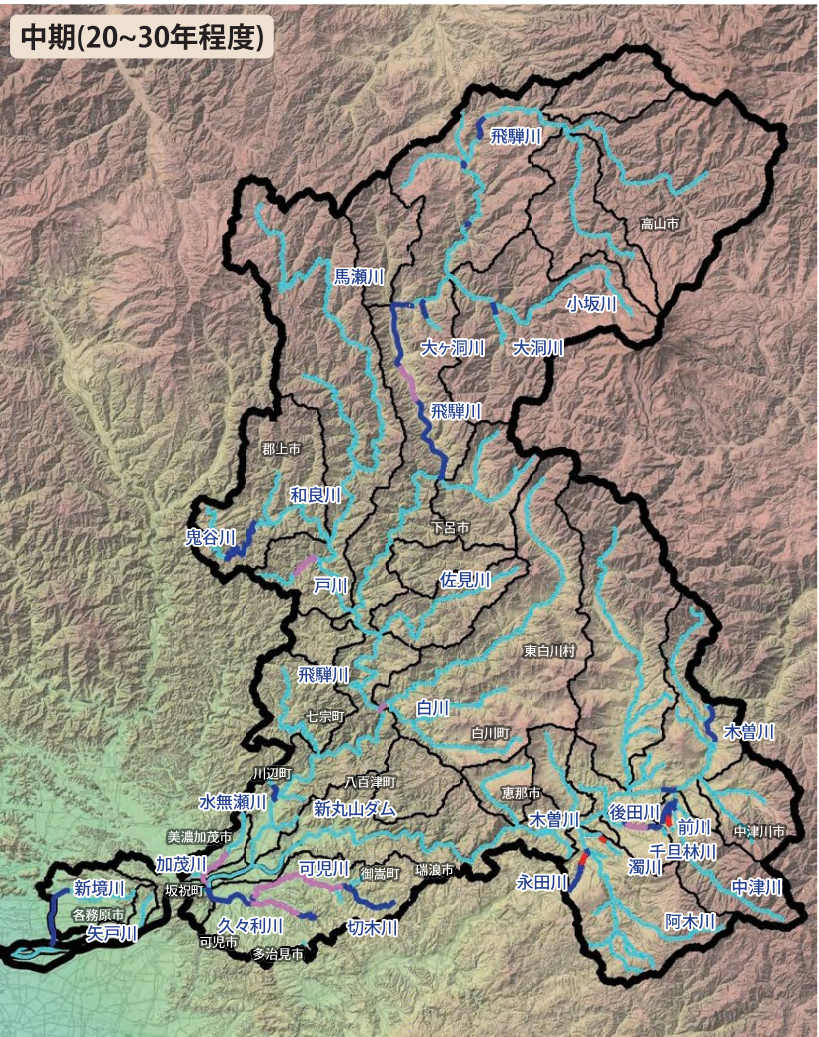
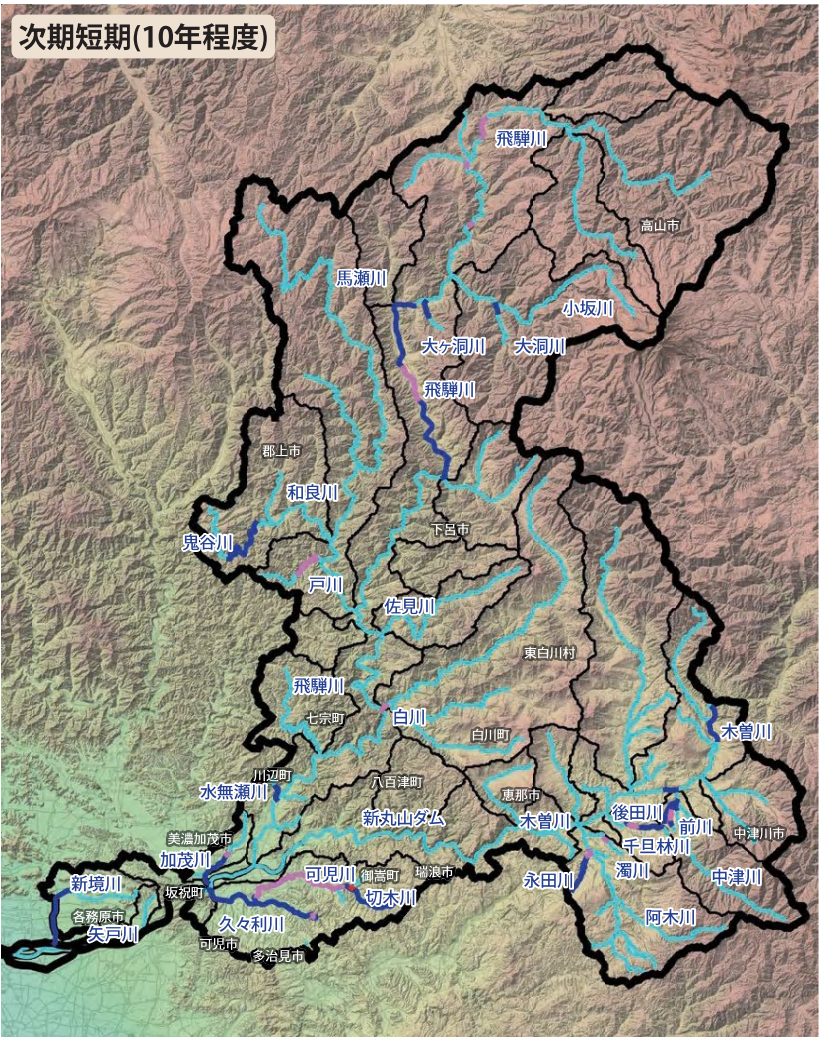
流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
木曽川	中津川	-	-	1/50
	後田川	-	-	1/30
飛騨川	前川	1/30	1/30	1/30
	飛騨川(下呂・萩原地区)	1/15	1/15	1/50
	飛騨川(渚・無数河・柳島地区)	1/15	-	1/30
	水無瀬川	-	-	1/30
	白川	1/15	1/15	1/30
	戸川	※1	※1	1/20
	鬼谷川	-	-	1/10
	大ヶ洞川	-	-	1/10
	大洞川	-	-	1/20

氾濫を防ぐ・減らす

◆河川区域での対策

- 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤
・各市村の管理する河川の改修と維持管理の実施(市村)
- ダム事前放流
・既存ダムにおける事前放流等の体制構築と実施(国、県、ダム管理者)
- 排水施設・ポンプ(河川)
・県管理の排水ポンプ車の運用(県)
・市町管理河川の排水施設の整備、維持管理の実施(市町)
- 河川施設の長寿命化・耐震化
・岐阜県河川インフラ長寿命化計画に基づく、排水機場や樋門等の河川構造物の予防保全型の維持管理の実施(県)

- 河川管理施設の維持管理・川幅を拡げ河道内貯留機能を高め
てゆっくり流す
- ・河川管理施設の維持管理計画に基づく、河川管理施設や許可
工作物の維持管理の実施
- ・河道拡幅による、生態環境保全と洪水ピーク流量の低減(県)
- ・市町村管理河川における自然共生川づくりの検討と実施
(市町)
- 指定河川及び基準水位の設定・見直し
・重要水防箇所、水位周知河川及び洪水予報河川の設定内容
見直し(県)



IV. 土岐川流域における総合的な治水対策プラン

IV-1 土岐川流域

における総合的な治水対策プランの全体概要

1.流域の概要

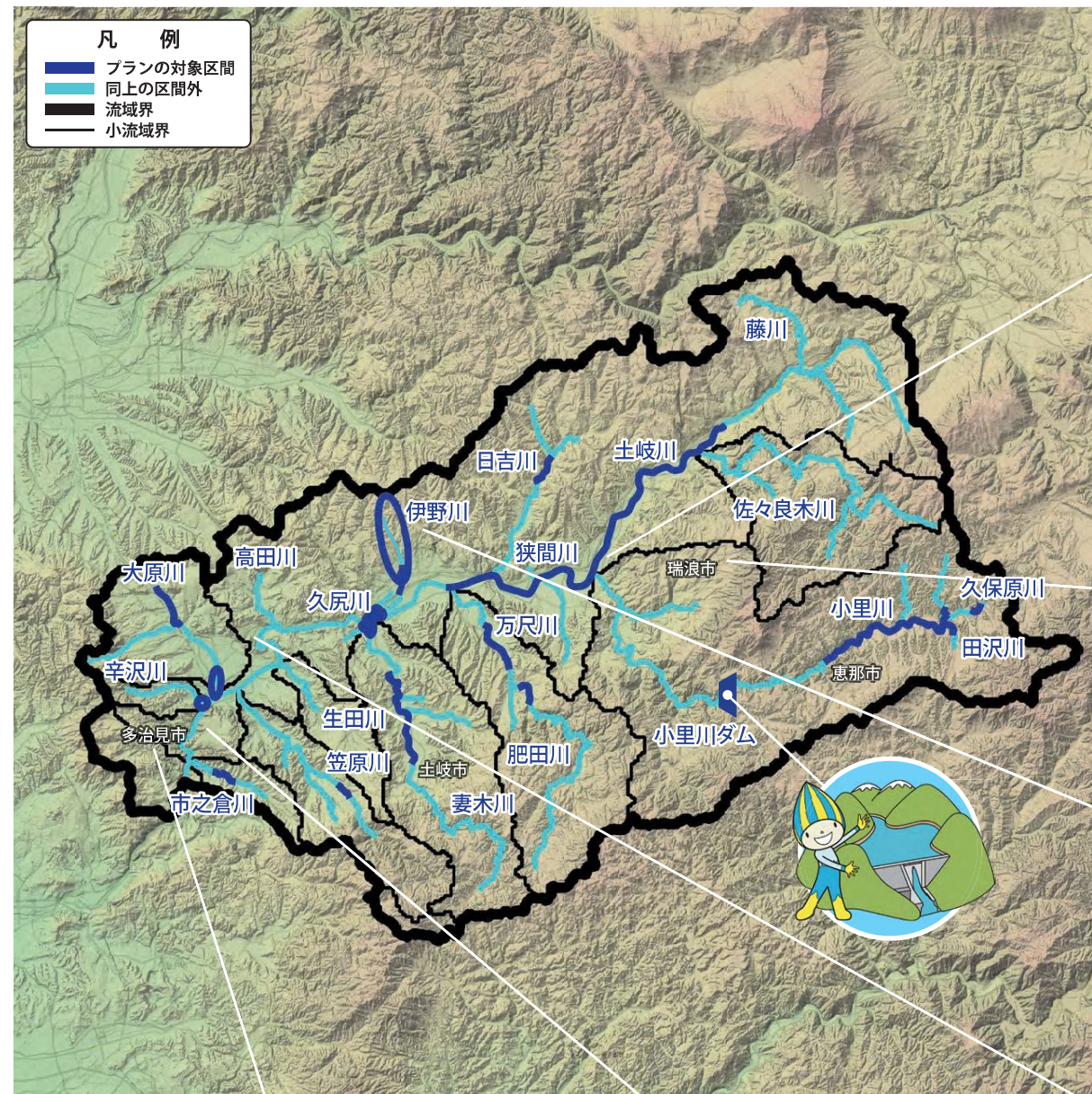
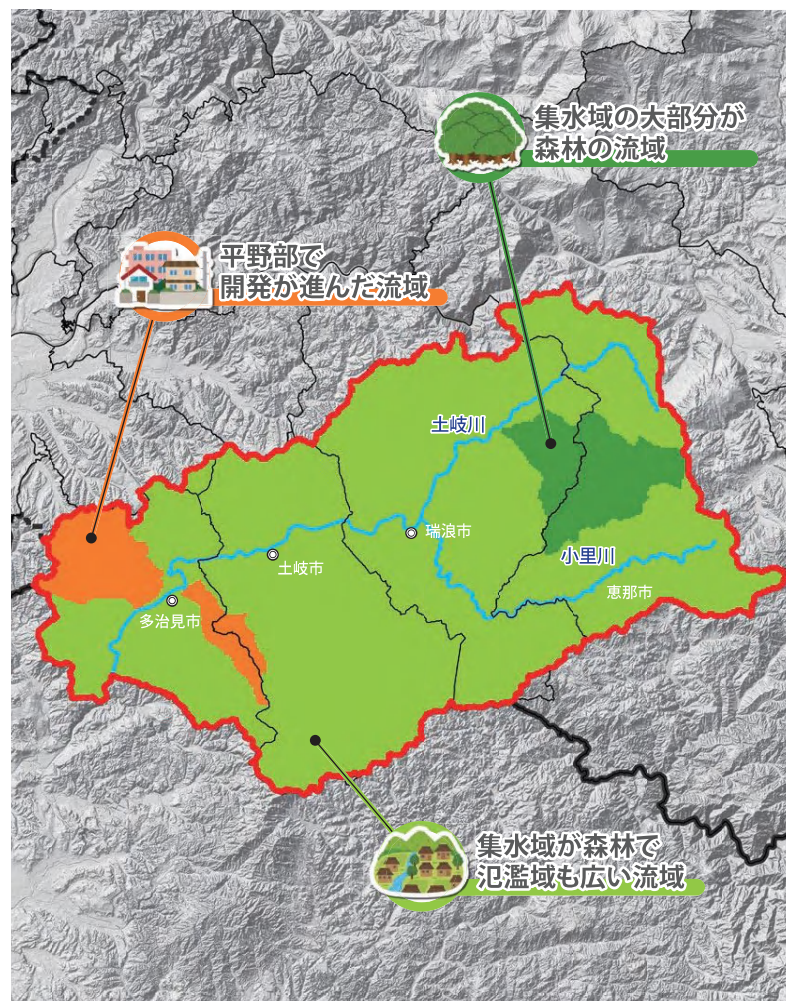
庄内川水系庄内川は、岐阜県内では土岐川と呼ばれ、その源を岐阜県恵那市山岡町の夕立山(標高727m)に発し、瑞浪市で小里川、土岐市で肥田川及び妻木川、多治見市で笠原川等の支川を合わせ、岐阜県と愛知県の県境に位置する玉野溪谷に流入します。玉野溪谷を抜けると愛知県で庄内川と名を変え、春日井市高蔵寺で濃尾平野に出ます。その後、矢田川等の支川を合わせて名古屋市の北西部を流下し、伊勢湾に注ぐ、幹線流路延長96km、流域面積1,010km²(※1)の一級河川です。

岐阜県内(愛知県境より上流)の土岐川流域は、多治見市、瑞浪市、土岐市、恵那市の4市からなり、流域内人口は約20万人(2020年国勢調査)です。

※1: 幹線流路延長、流域面積は国土交通省水管理・国土保全局資料より引用

2.流域の特徴

土岐川流域は、恵那市、瑞浪市では、「集水域の大部分が森林の流域」と「集水域が森林で氾濫域も広い流域」の両方が存在することが特徴です。また、土岐市、多治見市では、「集水域が森林で氾濫域も広い流域」と「平野部で開発が進んだ流域」の両方が存在することが特徴です。



3.取り組んでいる主な流域治水の施策(令和8年5月時点)



公共施設に雨水貯留浸透施設を整備(多治見市)



水防訓練の実施(多治見市)

※各取り組み施策の効果的な流域タイプを左上のイラストに示す

1.流域別の総合治水対策プラン

土岐川流域(2/2)

IV-2 土岐川流域

における総合的な治水対策プランの段階的な進め方

河川改修規模一覧表

流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
土岐川	土岐川(小里川合流点上流)	1/10	1/10	1/50
	土岐川(小里川合流点下流)	1/30	-	1/100
	市之倉川	1/30	1/30	-
	辛沢川	-	-	※1
	大原川	-	-	1/30～50
	笠原川	1/30	-	1/50

※1：合流部の浸水対策を実施

流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
土岐川	妻木川	-	-	1/50
	前の川	-	-	※1
	久尻川	-	-	※1
	伊野川	1/30	1/30	1/30
	肥田川	1/30	1/30	1/50
	日吉川	1/10	1/30	1/30
	小里川	1/2	1/20	1/20

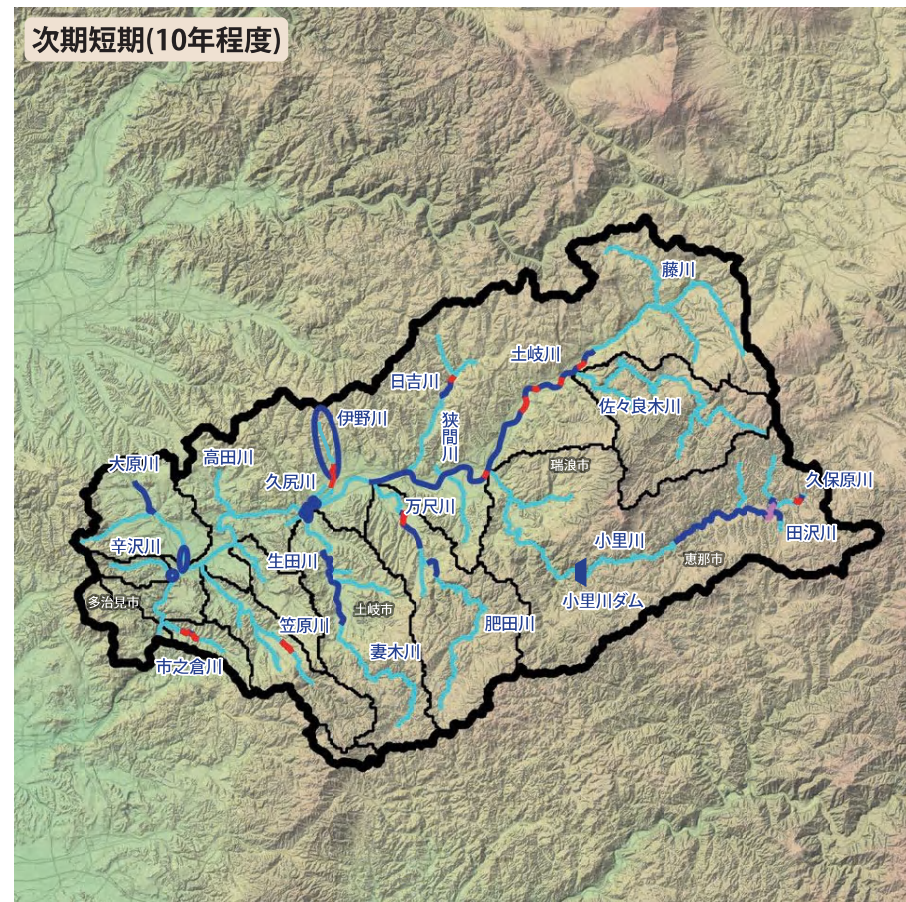
氾濫を防ぐ・減らす

◆河川区域での対策

- 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤
・市が管理する河川の改修の実施(市)
- ダム事前放流
・既設2ダムにおける事前放流等の実施(国、土岐川防災ダム一部事務組合等)
- 排水施設・ポンプ(河川)
・定期的な排水ポンプ車操作訓練の実施(県)
・市管理河川の排水施設の整備、維持管理の実施(市)

- 河川構造物の長寿命化・耐震化
・岐阜県河川インフラ長寿命化計画に基づく、排水機場や樋門等の河川構造物の予防保全型の維持管理の実施(県)
- 河川管理施設の維持管理
・河川維持管理計画に基づく、河川管理施設や許可工作物の維持管理の実施(県)
- 川幅を拡げ河道内貯留機能を高めてゆっくり流す
・川幅拡幅による、生態環境保全と洪水ピーク流量の低減(県)
・市管理河川における自然共生川づくりの実施(市)

次期短期(10年程度)

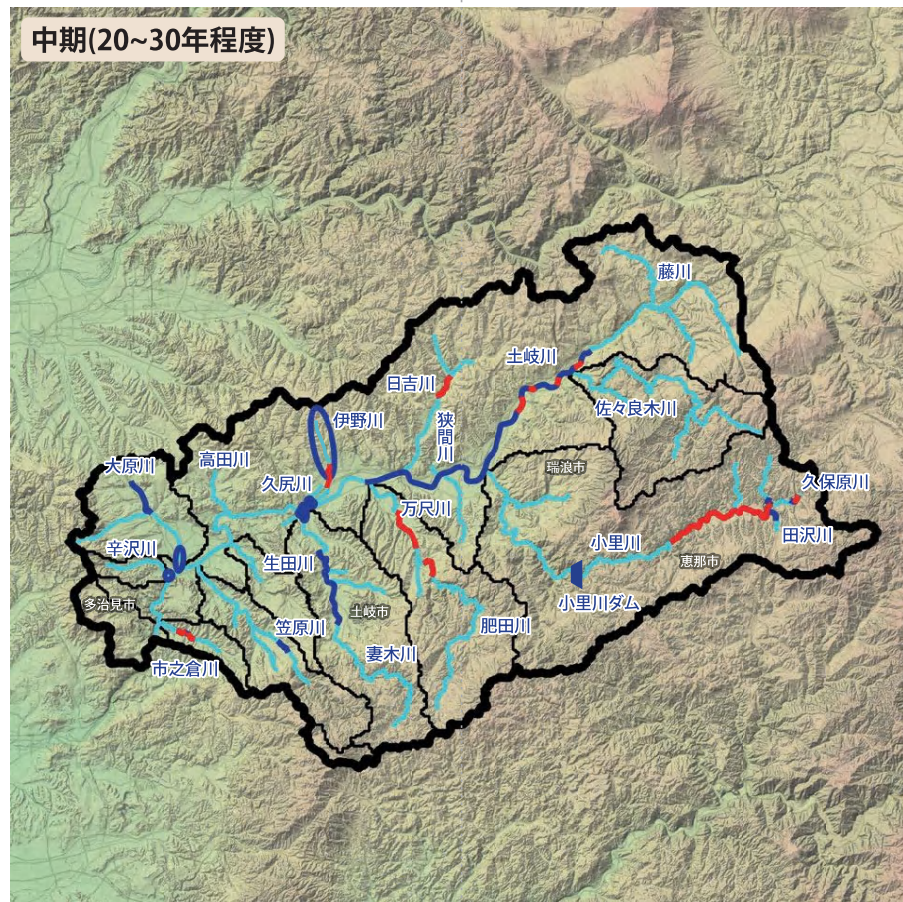


凡 例

- プランの対象区間
- 整備区間(暫定改修)
- 流域界
- 同上の区間外
- 整備区間
- 小流域界

※各時期までに整備する区間

中期(20～30年程度)

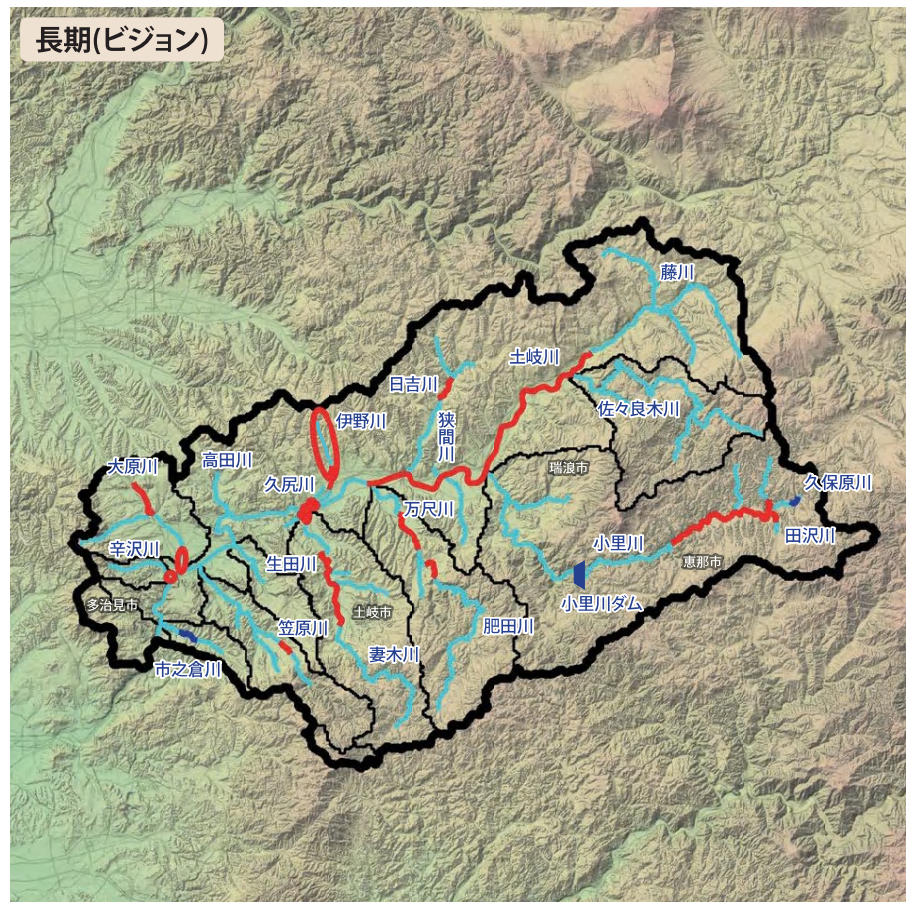


凡 例

- プランの対象区間
- 整備区間(暫定改修)
- 流域界
- 同上の区間外
- 整備区間
- 小流域界

※各時期までに整備する区間

長期(ビジョン)



凡 例

- プランの対象区間
- 整備区間(暫定改修)
- 流域界
- 同上の区間外
- 整備区間
- 小流域界

※各時期までに整備する区間

V. 宮川(神通川)流域における総合的な治水対策プラン

V-1 宮川(神通川)流域における総合的な治水対策プランの全体概要

1.流域の概要

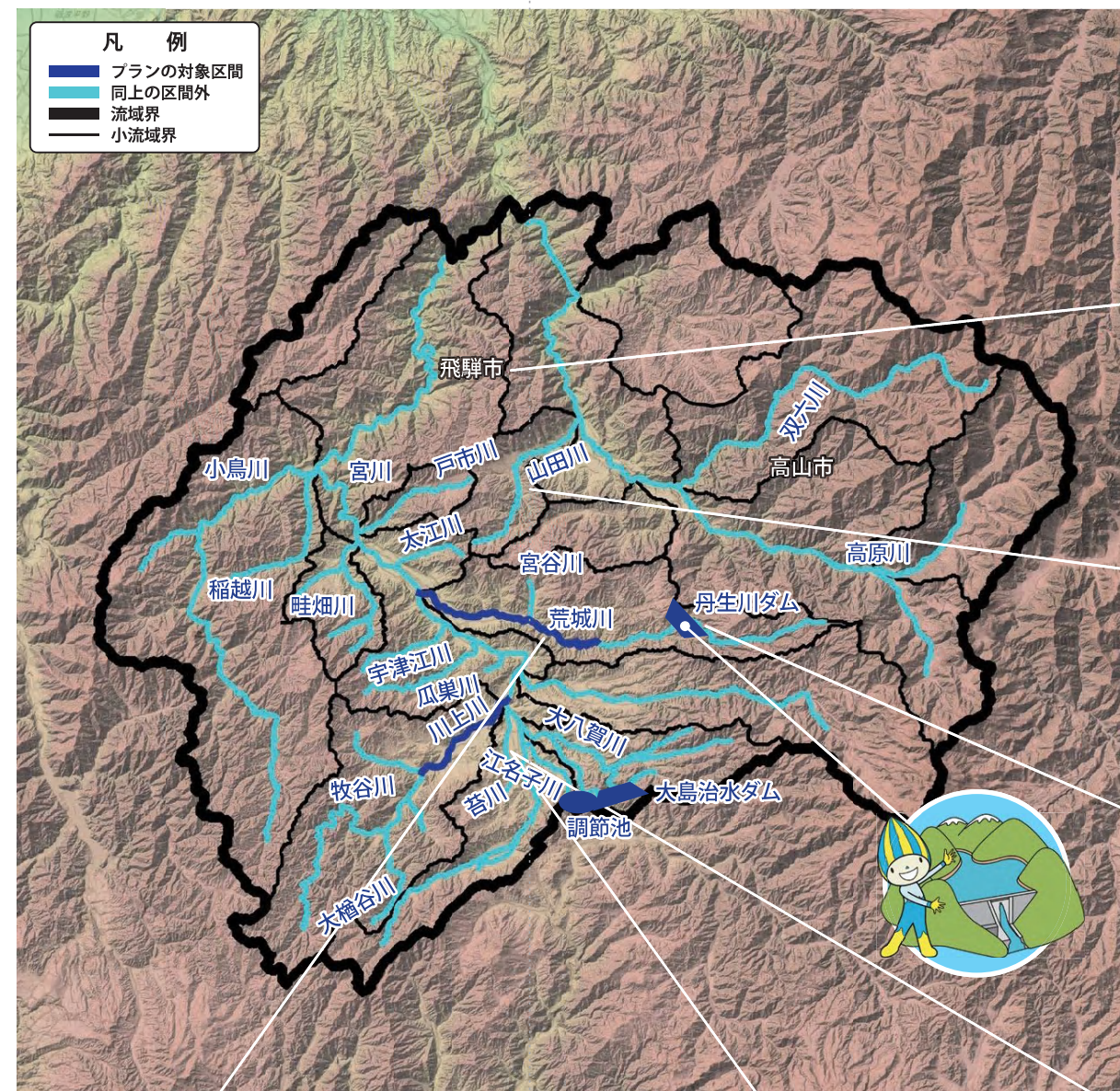
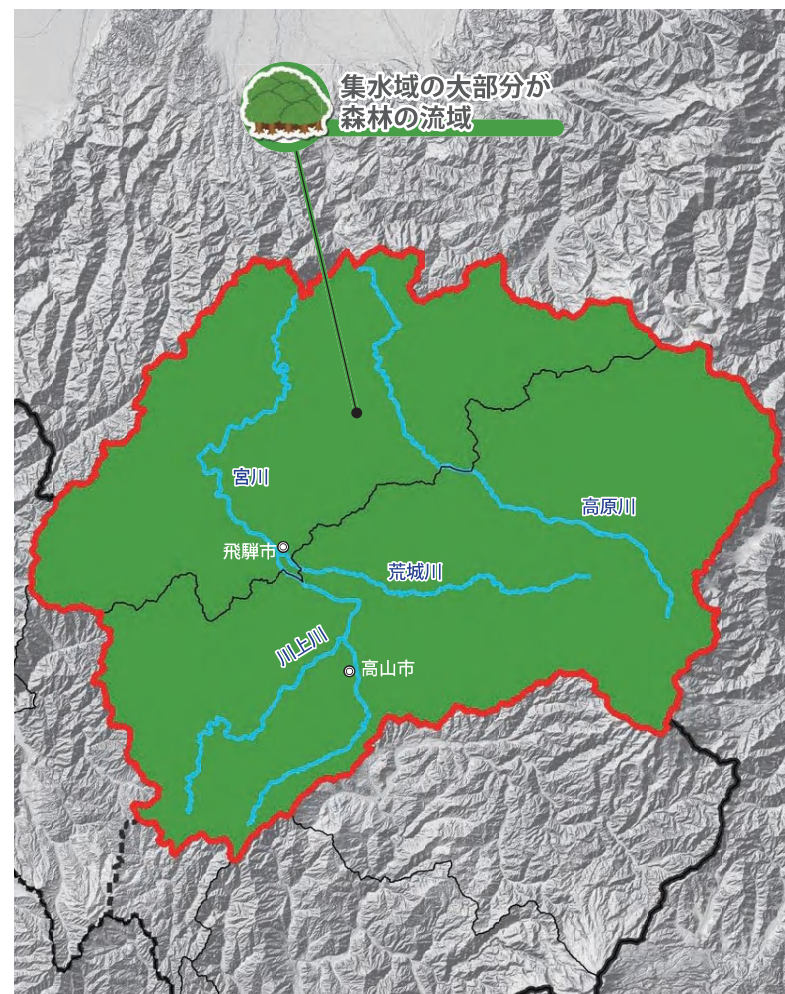
神通川水系宮川は、岐阜県高山市一之宮町の川上岳(標高1,626m)に源を発して、同市において、江名子川、大八賀川、苔川、川上川、小八賀川、瓜巣川、宇津江川を合わせ、飛騨市において荒城川、太江川、戸市川、小鳥川等の各支川を合わせたのち、岐阜県・富山県の県境で高原川と合流して神通川と名前を変え、富山湾に注ぐ、幹川流路延長120km、流域面積2,720km²(※1)の一級河川です。

岐阜県内(高原川合流点より上流)の宮川流域は、高山市、飛騨市の2市からなり、流域面積約1,943km²、本川流路延長76km、流域内人口は約11万人(2020年国勢調査)となっています。

※1: 幹川流路延長、流域面積は国土交通省水管理・国土保全局資料より引用

2.流域の特徴

宮川(神通川)流域は、飛騨市、高山市では、「集水域の大部分を森林の流域」が特徴の地域です。



災害復旧箇所における水域環境の復元(荒城川・高山市)



地域の小学校と連携した防災教育の実施(飛騨市)

3.取り組んでいる主な流域治水の施策(令和8年5月時点)



浸水表示板の設置(飛騨市)



重要水防箇所における合同巡視の実施(山田川・飛騨市)



丹生川ダム(荒城川・高山市)



宮川・庄川流域新五流総地域委員会

※各取り組み施策の効果的な流域タイプを左上のイラストに示す

1.流域別の総合治水対策プラン

宮川(神通川)流域(2/2)

V-2 宮川(神通川)流域
における総合的な治水対策プランの全体概要

河川改修規模一覧表

流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
宮川	宮川 (69.0km付近～72.0km付近)	1/30	1/30	1/50
	宮川 (77.4km付近～97.6km付近)	1/30	1/30	1/50
	宮川 (97.6km付近～103.4km付近)	1/30	1/30	1/30
	太江川	1/20	1/20	1/20
	荒城川	-	-	1/50

流域名	河川名	各段階における整備目標		
		短期	中期	長期
宮川	宇津江川	-	1/30	1/30
	川上川	-	-	1/50
	苔川	1/30	-	1/50
	大八賀川	※1	※2	1/50
	江名子川	1/10	1/30	1/30

※1：大島治水ダムのダム検証を完了する。

※2：大島治水ダムを完成する。

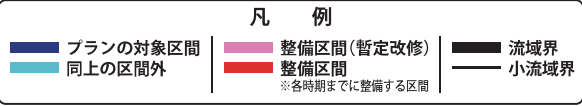
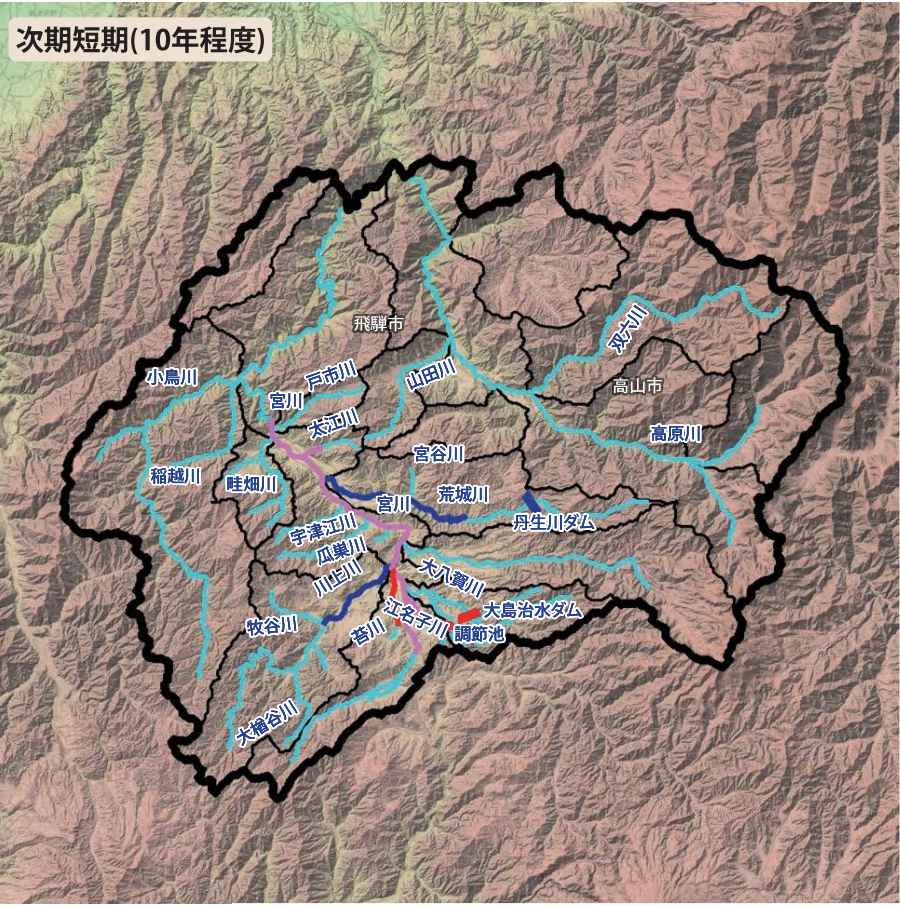
氾濫を防ぐ・減らす

◆河川区域での対策

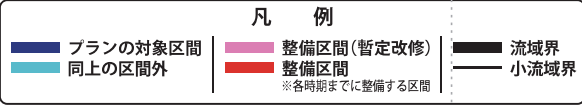
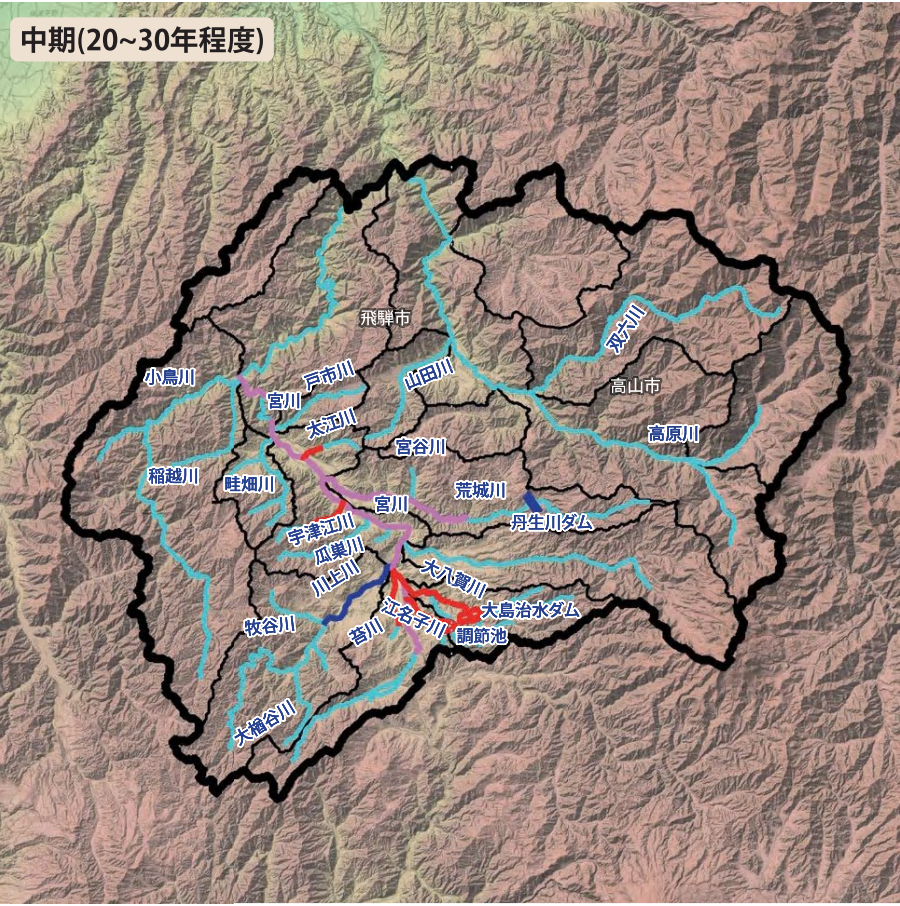
- 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤
・各支川においても目標とする規模の洪水を安全に流下させる
- ダム事前放流
・既存ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（県、ダム管理者）
- 排水施設・ポンプ（河川）
・県管理の排水ポンプ車の運用（果）
- 河川構造物の長寿命化・耐震化
・岐阜県河川インフラ長寿命化計画に基づく、排水機場や樋門等の河川構造物の予防保全型の維持管理の実施（県）
・河川堤防の耐震対策の検討と実施（県）

- 河川管理施設の維持管理
・河川維持管理計画に基づく河川管理施設や許可工作物の維持管理の実施（県）
- 川幅を拡げ河道内貯留機能を高めてゆっくり流す
・自然共生川づくりにより、川幅を広げ、生物の多様な生育環境を保全しつつ、河道内の貯留機能を高め、洪水ピーク流量を低減（県）
・各市村が管理する河川で自然共生川づくりを実施・検討（市村）

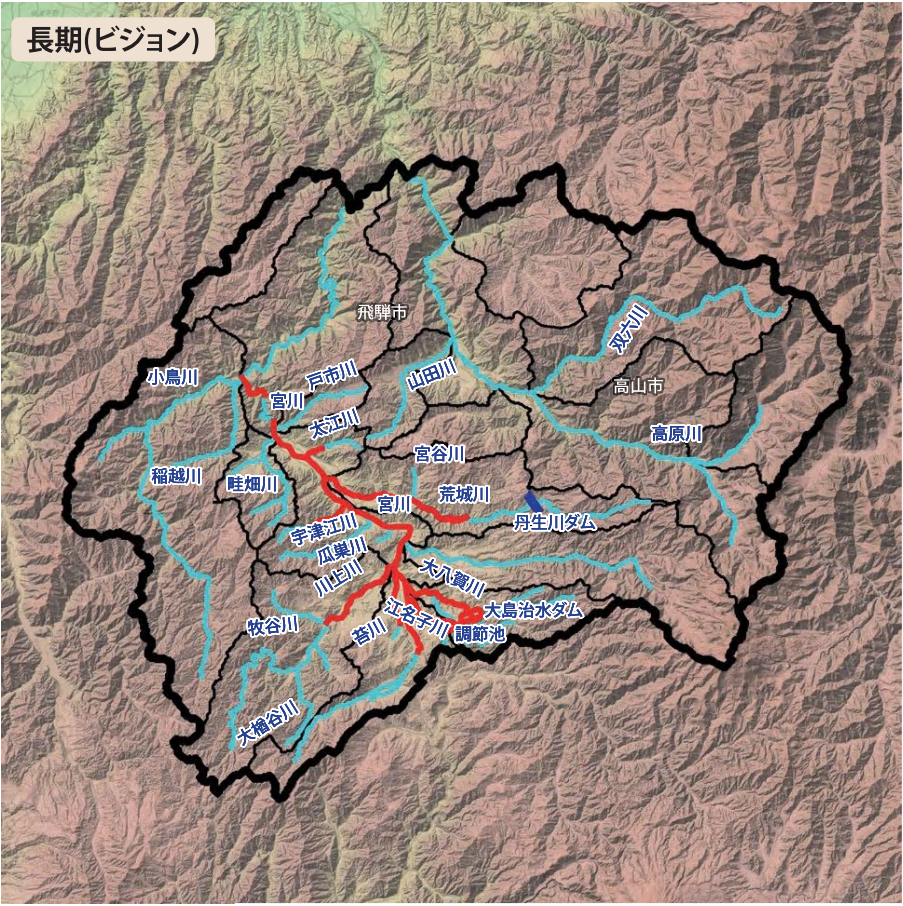
次期短期(10年程度)



中期(20～30年程度)



長期(ビジョン)

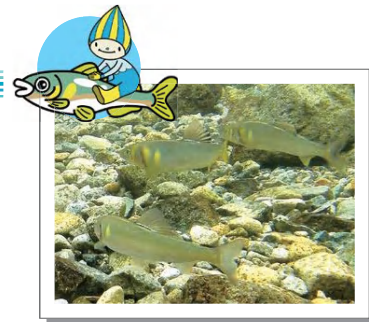


2.河川環境の保全・創出

飛山濃水といわれる当県の地形風土は、自然豊かな清流を各所に育み、美しい景観を創り出し、人々の暮らしと川とを古くより深く結びつけてきました。そして、長良川の鵜飼などの伝統的・文化的な活動も各所で行われています。安全、安心な暮らしを守るために進めていく治水対策においては、そのような美しい川を将来に残していけるよう、現在の良好な河川環境を保全し、また現状をより改善するよう取り組んでいくことが必要とされます。

魚類等の生物の生育生息環境を守る

自然豊かな河川環境を保全・再生・創出すべく、河川改修に際しては現況河道の改変を最小限に抑えるとともに、瀬・淵や自然な流路形態の保全、再生に努めます。また、学識者や地域の方々の意見をうかがい、自然環境を十分に保全・再生・創出した計画、工事としていきます。また、ダムなどの大規模な施設の整備に当たっては、動植物の専門家等からなる委員会等を設け十分な調査検討を行い、生息・生育・繁殖環境を保全・再生・創出する事業を実施していきます。



河川の利用と調和する

河川を含む地域が国定公園や県立自然公園に指定されているなど、川は優れた景勝地をもたらす観光上の貴重な財産になっています。また、そのような良好な景観の下で、キャンプ、ラフティングなどの活動も行われています。自然豊かな清流では釣りも盛んに行われており、長良川の鵜飼など歴史的・文化的な活動も各地に見られます。河川の整備に当たっては、そのような河川の利用に配慮した施設整備や優れた景観の保全等に努めるとともに、河川が適正に利用されるよう関係機関と連携した取り組みを行っていきます。



まちづくりと一体となる

市街地における河川は、残された貴重なオープンスペースであるとともに貴重な自然空間でもあります。また、多くの観光地や優れた景観を持つ本県においては、水辺は地域の重要な財産にもなっています。そこで、市街地においては、まちづくりと連携した川づくりとして、歴史、文化、景観等、河川が有する水辺の魅力を地域の交流の場や環境資源として活かし、新たな県の魅力として発信するため、グリーンインフラの概念を取り入れつつ、まちづくりと一体となった河川整備（かわまちづくり）を行っていきます。そのために、地域の方々や関係機関と連携して取り組んでいきます。



良好な水環境を守る

中山間部の良好な水質を保ち、市街地や低平地における河川の水質をさらに改善していくことは多くの県民の希望であり、治水対策を進めるに当たっても、関係機関等と連携しながら水質の確保に努めていきます。また、水質の確保や動植物の生息環境を保全するために、河川に安定した水量が流れ、良好な水循環が維持できるような取り組みにも努めていきます。



3.河川の維持管理

(1)河川維持管理計画の策定

河川毎に具体的な維持管理の内容を定めた「河川維持管理計画」を基に、引き続き適正な維持管理を行います。

(2)河川の維持管理

洪水による被害の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び良好な河川環境の整備と保全の観点から、各河川の特性を踏まえた河川の維持管理を、関係機関や地域住民と連携を図りながら適切に行っていきます。

また動植物の生息・生育環境を保全しながら、自然と親しむことができる河川空間を維持していくとともに、その利用を促進していきます。

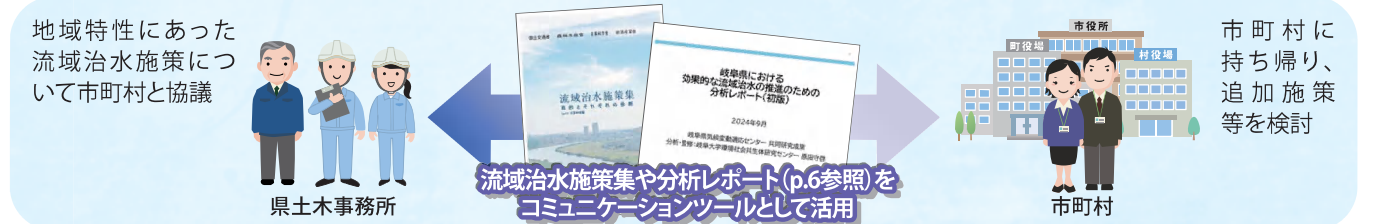
4.計画の運用

(1)具体の事業計画の立案

新五流域総合治水対策プランは短中長期的な治水対策のビジョンを示すものであり、河川法に基づく河川整備計画の策定にあたっての基礎となるものです。国土交通省や流域自治体など関係機関と協議しながら検討し、気候変動に基づいた河川整備計画の見直しを行います。

(2)事業推進体制の整備

「新五流総地域委員会」は、各流域における治水プランに関する地域の意見を聴き、実施状況を関係機関で情報共有しながら流域全体の治水対策を推進する役割を担っています。また、水防法に基づく大規模氾濫減災協議会として「地域の取組方針」をとりまとめると共に、水害リスク情報や取組状況を共有し、防災意識向上と洪水被害軽減を図っています。今回の改定にあたり、施策を着実に進めるため、地域委員会を通じて自治体や関係者と地域での取り組みを共有・フォローアップし、地域特性に応じた施策の推進・拡充を継続的に議論します。さらに、流域治水協議会に参画し、流域治水プロジェクトのもと、協議・情報共有をしながら流域治水を推進します。市街地を流下する一部の支川では、流域の総合的な貯留・浸透対策を盛り込んだ流域整備計画に基づき、市と連携しながら着実に事業を推進していきます。



(3)河川環境のモニタリングと河川管理への活用

河川環境の現状と価値を把握するため、既往調査の分析や必要な調査を実施し、河川整備計画の検討や事業の影響予測に反映します。事業実施時には関係者の環境教育を行い、実施後には地域住民や団体と協力してモニタリングを行います。

(4)担い手育成・確保とDX

治水と環境が調和した「自然共生川づくり」、加えて、かわまちづくり、流域治水、グリーンインフラなど多様な視点で川づくり・まちづくりに取り組むため、防災教育・環境教育を継続するための人材育成や教材開発を進めます。また、ICT施工技術の普及と活用を推進し、建設業の生産性向上と労働環境改善を図ります。



(5)防災意識の向上

ハード対策と並行して住民の防災意識を高め、洪水発生時の確実な避難行動につなげます。具体的には危機管理型水位計の設置・運用、防災情報の効果的な発信・共有、田んぼダムの理解促進など、流域住民と共に流域治水を進めます。

(6)川づくり目標の見直し

河川整備計画及び「岐阜県自然共生川づくりの手引き」に基づいて各河川で設定された川づくり目標について、適切な機会に見直しを行います。見直し時には、それまでの取り組みや最新の知見を踏まえ、治水、利水、自然環境、景観、歴史、文化、利用等の観点から対象河川の特徴と地域の要請を踏まえた目標とします。

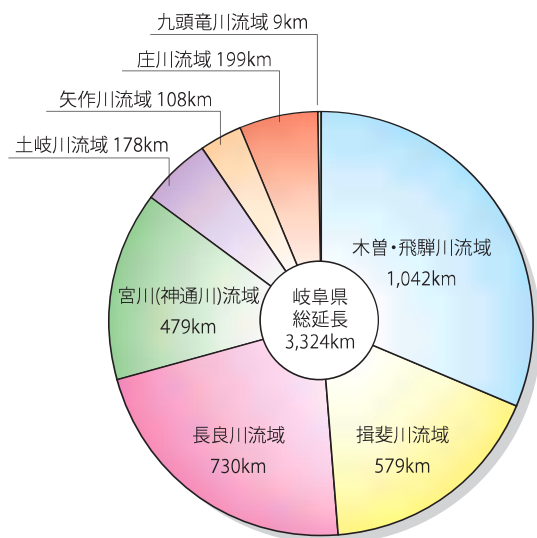
県民のみなさんが主役です!



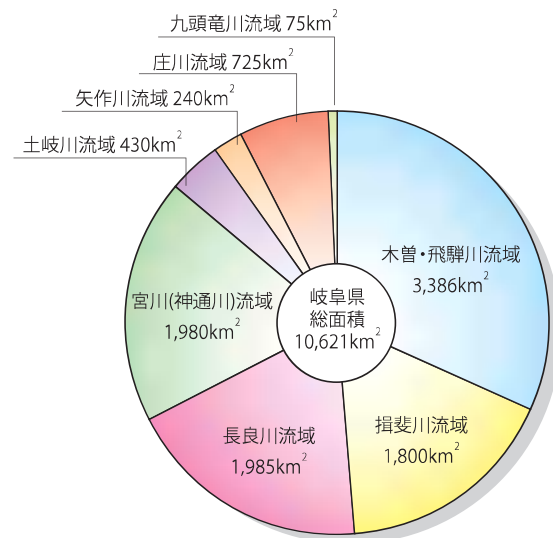
①河川の現況

○県内を流れる一級河川は437河川あり、その総延長は約3,324km(全国5位)となっています。

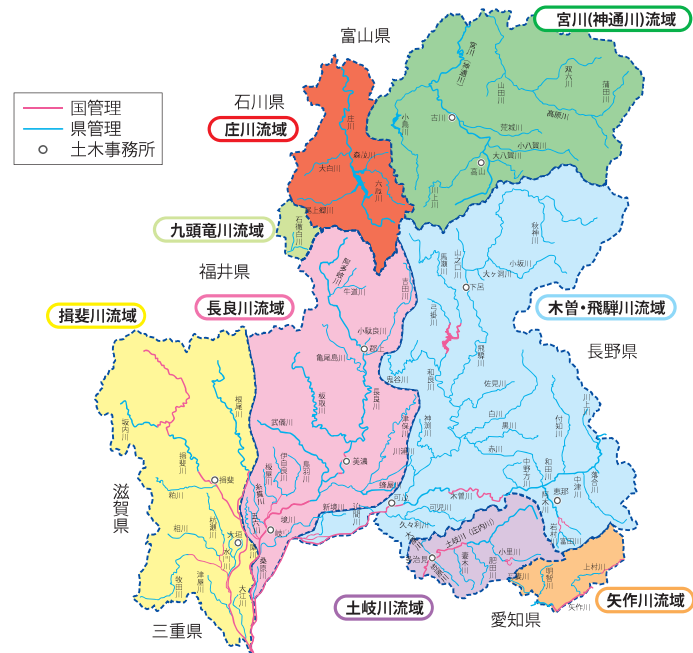
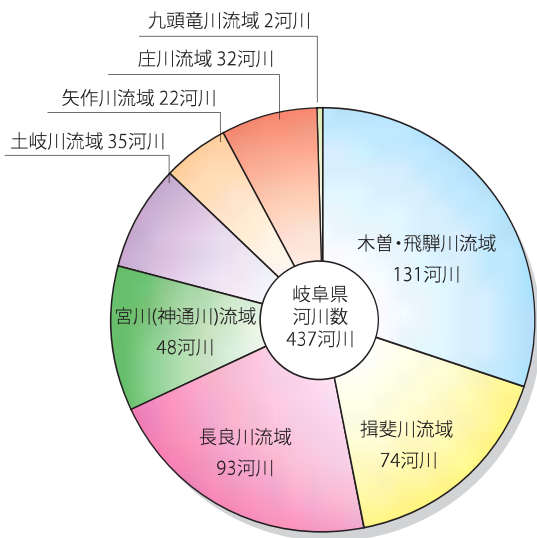
●河川延長



●流域構成



●河川数

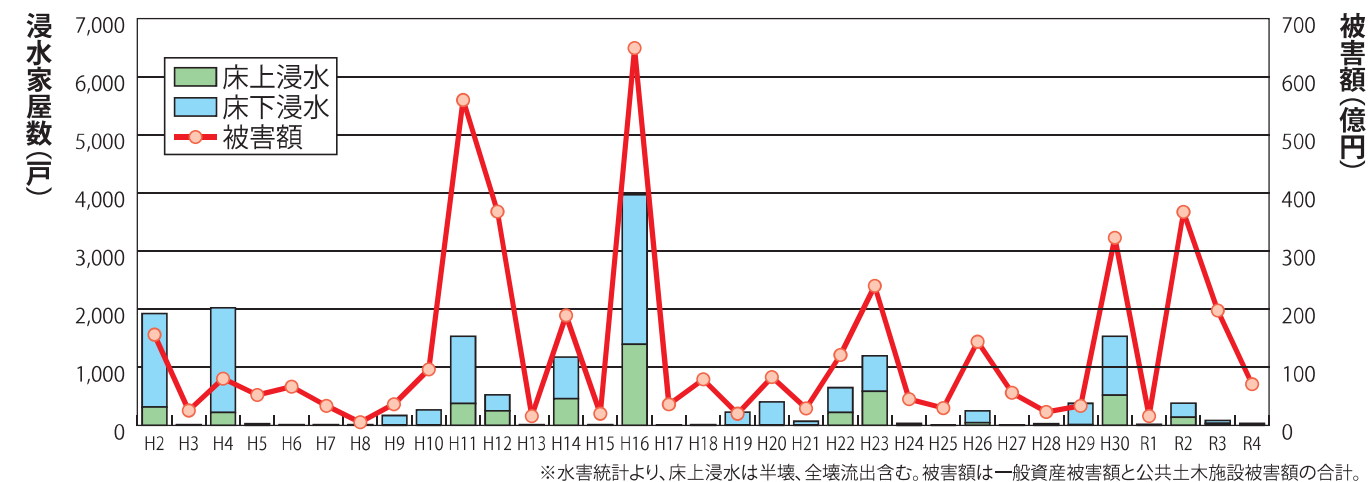


②県内の水害の発生状況

一向に浸水被害が減少していません!

○水害に強い安全な県土づくりのために、治水対策を進めています。
しかしながら、毎年のように台風や短期的局地的集中豪雨により、浸水被害が発生しています。

水害による浸水家屋数と被害額



時間雨量100mmの集中豪雨が頻発しています!

○近年、全国的に1時間に100mmを超える降雨を記録するような局所的な集中豪雨が頻発する傾向にあります。

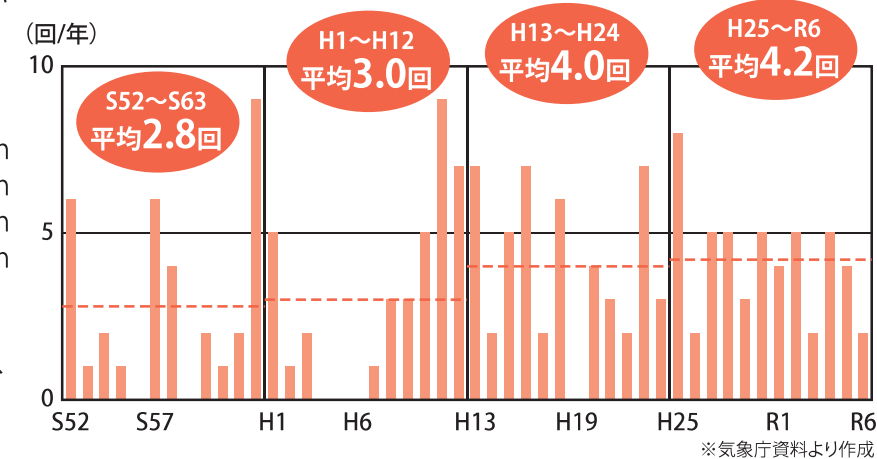
○岐阜県においても、1時間雨量で、
平成25年 大垣市(大垣) 108mm
平成29年 美濃加茂市(美濃加茂) 90mm
平成30年 下呂市(金山) 108mm
令和2年 美濃市(美濃) 94mm

というような降雨量を記録しており、集中豪雨が頻発しています。

1時間降雨量の年間延べ発生回数の推移

全国のアメダス地点 約1,300地点より

【全国アメダス】1時間降水量100mm以上の年間発生回数

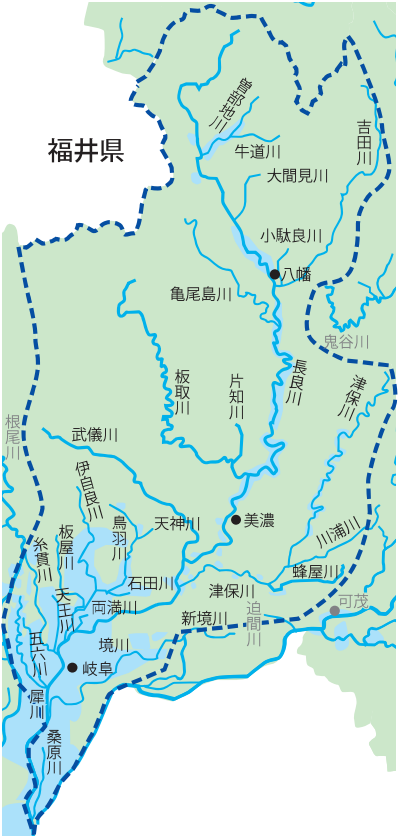


②県内の水害の発生状況

各流域における近年の主な水害発生状況(昭和51年9.12豪雨災害以降)

長良川流域

河川名	発生年月日	市町村名	床上	床下
鳥羽川	S51.9.12	岐阜市他	2,279	7,168
伊自良川	〃	岐阜市他	4,913	6,092
論田川	〃	岐阜市	310	5,597
新荒田川	〃	岐阜市	1,340	4,842
荒田川	〃	岐阜市	429	2,274
境川	〃	岐阜市他	1,117	2,271
長良川	〃	岐阜市他	5,651	1,398
五六川	〃	穂積町他	2,617	1,169
板屋川	〃	岐阜市	351	1,039
大江川	〃	岐阜市	332	1,006
岩戸川	〃	岐阜市	589	821
桑原川	〃	羽島市	82	751
天王川	〃	岐阜市他	173	734
石田川	〃	高富町他	252	504
犀川	〃	巣南町他	183	340
山田川	〃	岐阜市	88	259
政田川	〃	巣南町他	21	201
中川	〃	真正町	1	70
福富川	〃	岐阜市	38	58
神洞川	〃	美濃市	10	42
柿野川	〃	洞戸村	0	29
エゴ川	〃	武芸川町	15	9
蜂屋川	〃	関市他	0	8
長護寺川	〃	巣南町	1	19
船越川	〃	美山町	0	12
武儀川	〃	武芸川町	0	10
出戸川	〃	美山町	7	7
大洞川	〃	美濃加茂市	0	6
半道川	〃	美濃市	0	6
桑原川	S52.8.10	羽島市	0	34
境川	S55.8.14	岐阜市	17	109
板取川	S56.6.27	板取村	6	1
吉田川	〃	八幡町	8	9
神路川	〃	大和町	4	13
境川	H2.9.20	岐阜市	0	15
糸貫川	〃	本巣町	0	17
天王川	〃	北方町	0	29
鳥羽川	〃	高富町	34	22
天神川	〃	岐阜市	0	22
石田川	〃	岐阜市、高富町	0	19
両満川	〃	岐阜市	0	17
津保川	〃	上之保村、武儀町	4	30
板取川	〃	美濃市	2	27
片知川	〃	美濃市	7	30
長良川	〃	岐阜市、関市他	13	39
山田川	〃	岐阜市	4	3
石田川	〃	岐阜市他	0	19
境川	H4.8.13	岐阜市	0	12
両満川	〃	岐阜市	0	26
長良川	H10.10.13	岐阜市	1	147
長良川	H11.9.15	八幡町他	39	134
津保川	〃	関市	87	227
境川	〃	岐阜市	11	24
曾部地川	〃	白鳥町	22	52
大間見川	〃	大和町	0	15
牛道川	〃	白鳥町	3	40
津保川	H12.9.11	関市	0	14
長良川	H14.7.10	八幡町他	2	7
曾部地川	〃	白鳥町	12	14
板取川	〃	板取村	2	7
武儀倉川	H16.6.29	武儀町	1	6
長良川	H16.10.20	岐阜市、関市他	555	439
曾部地川	〃	郡上市	4	20
吉田川	〃	郡上市	2	10
境川	〃	岐阜市	0	6
大江川	〃	岐阜市	0	7
板取川	〃	洞戸村	1	5
境川	H20.8.26	岐阜市	38	90
津保川	H21.7.17	関市、美濃加茂市	0	31
境川	H25.9.4	岐阜市	7	55
荒田川	〃	岐阜市	1	7
境川	H26.8.13	岐阜市	2	13
荒田川	〃	岐阜市	0	6
境川	H29.10.19	岐阜市	2	8
津保川	H30.6.26	関市、富加町	139	740
福富川	〃	岐阜市	0	6
境川	R4.8.20	岐阜市	1	9



庄川流域・九頭竜川流域

河川名	発生年月日	市町村名	床上	床下
庄川	H11.9.15	荘川村	0	6
御手洗川	〃	荘川村	3	6
一色川	〃	荘川村	0	6
一色川	H16.10.20	河合村	0	5
一色川	H26.8.17	高山市	0	5



揖斐川流域

河川名	発生年月日	市町村名	床上	床下
水門川	S51.9.12	大垣市他	3,156	5,647
杭瀬川	〃	大垣市他	641	2,936
大谷川	〃	大垣市	604	829
津屋川	〃	南濃町他	33	110
平野井川	〃	神戸町	1	96
金草川	〃	養老町	19	86
泥川	〃	垂井町他	6	60
色目川	〃	養老町	23	59
山除川	〃	南濃町	14	45
牧田川	〃	輪之内町他	2	27
小畑川	〃	養老町	11	26
長除川	〃	南濃町	0	13
揖斐川	〃	海津町	5	11
五三川	〃	養老町	1	9
桂川	〃	揖斐川町	26	0
水門川	S61.8.22	大垣市	0	30
杭瀬川	H2.9.20	大垣市	46	10
大谷川	〃	大垣市	160	384
水門川	〃	大垣市	1	155
平野井川	〃	大垣市	2	4
杭瀬川	H14.7.10	大垣市、池田町	132	45
大谷川	〃	大垣市	300	249
泥川	〃	垂井町	6	67
色目川	〃	養老町	0	12
根尾川	〃	谷汲村、本巣町	1	21
薬師川	〃	大垣市	0	8
泥川	H16.9.29	垂井町	0	18
杭瀬川	H16.10.20	大垣市	0	42
大谷川	〃	大垣市	23	151
水門川	〃	大垣市	2	97
泥川	〃	垂井町	5	97
薬師川	〃	大垣市	0	16
東川	〃	池田町	3	10
色目川	〃	養老町	0	6
杭瀬川	H20.9.2	大垣市	5	26
杭瀬川	H24.9.18	大垣市	4	1
水門川	H25.9.4	大垣市	1	51



土岐川流域

河川名	発生年月日	市町村名	床上	床下
久尻川	S51.6.15	土岐市	2	7
日吉川	S51.7.28	瑞浪市	5	2
大原川	S52.9.3	多治見市	0	9
高田川	〃	多治見市	0	8
大原川	S54.9.20	多治見市	0	8
久尻川	〃	土岐市	5	44
伊野川	S55.8.25	土岐市	0	10
久尻川	〃	土岐市	0	7
伊野川	S58.9.28	土岐市	0	21
笠原川	S63.9.25	笠原町	0	5
日吉川	〃	瑞浪市	0	8
伊野川	H1.9.20	土岐市	148	71
久尻川	〃	土岐市	20	14
妻木川	〃	土岐市	8	4
土岐川	〃	多治見市、土岐市	104	103
前の川	〃	土岐市	4	6
土岐川	H11.6.30	土岐市、瑞浪市	9	13
久尻川	〃	土岐市	13	11
土岐川	H23.9.20	多治見市全域	439	183

宮川(神通川)流域

河川名	発生年月日	市町村名	床上	床下
牧谷川	S51.9.12	清見村	4	2
宮川	S58.9.28	高山市	19	21
大八賀川	〃	高山市	0	7
太江川	〃	古川町	1	13
宮川	H11.9.15	古川町	75	183
小鳥川	〃	河合村	25	11
宮川	H16.10.20	高山市、飛騨市他	378	299
川上川	〃	高山市、清見村	96	85
苔川	〃	高山市	103	139
江名子川	〃	高山市	40	38
大八賀川	〃	高山市	9	49
山口川	〃	高山市	4	8
瓜栗川	〃	国府町	4	6
小鳥川	〃	飛騨市	9	0
太江川	〃	飛騨市	2	3
荒城川	〃	飛騨市	17	47
江名子川	H26.8.17	高山市	13	4
川上川	〃	高山市	2	7
苔川	〃	高山市	1	6

富山県



木曽・飛騨川流域

河川名	発生年月日	市町村名	床上	床下
四ッ目川	S51.9.12	中津川市	0	9
落合川	〃	中津川市	0	8
大洞川	〃	小坂町	0	6
久々利川	S54.8.21	可児市	4	6
久々利川	S55.9.3	可児市	3	5
木曽川	S58.9.28	美濃加茂市他	4,077	660
川上川	〃	坂下町	0	23
坂本川	〃	中津川市	1	6
千旦林川	〃	中津川市	3	9
飛騨川	〃	下呂市	21	53
外洞川	〃	坂下町	0	11
日和田川	〃	高根村	0	5
飯沼川	〃	中津川市	13	8
久々利川	〃	可児市	30	43
加茂川	〃	美濃加茂市	1,565	107
濁川	H1.9.20	恵那市	2	6
永田川	〃	恵那市	8	121
和良川	H2.9.20	和良村	3	15
和良川	H5.8.20	和良村	0	21
黒川	H10.9.22	白川町	16	104
加茂川	H12.9.11	美濃加茂市	14	3
飛騨川	H16.10.18	下呂市	0	8
馬瀬川	H16.10.20	下呂市	3	10
可児川	H22.7.15	可児市	40	23
久々利川	〃	可児市	29	19
加茂川	H23.9.20	美濃加茂市	9	5
久々利川	〃	可児市	5	4
馬瀬川	H26.8.17	高山市	4	4
菅田川	H30.7.8	下呂市	8	1
戸川	〃	下呂市	2	5
白川	〃	白川町	6	2
飛騨川	R2.7.7	下呂市、白川町	22	20
大ヶ洞川	〃	下呂市	1	4
白川	R2.7.8	白川町	25	10
白川	R3.8.14	白川町	21	15
戸川	R5.8.17	下呂市	1	9



矢作川流域

河川名	発生年月日	市町村名	床上	床下
飯田洞川	S58.9.28	上矢作町	1	6
矢作川	H12.9.12	串原町	5	2
上村川	〃	上矢作町	40	36



凡 例

- 流域界
- S51年～R6年の浸水実績
- ・表は、近50年程度の主要な水害で床上・床下浸水家屋数が5戸以上の浸水があったものを揭示。
- ・表中の数字は昭和51年から令和6年までの「水害統計」を参照。
- ・床上浸水戸数には、全壊、半壊家屋数も含む。

③河川整備の現状

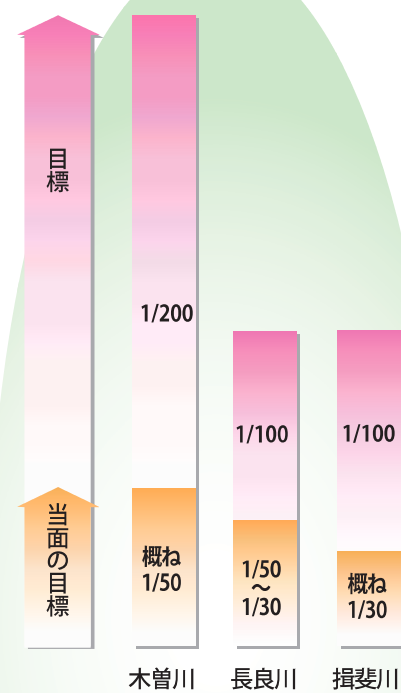
■県内河川が目標としている改修規模

木曽川、長良川、揖斐川の国が管理している区間では、年超過確率 $1/100 \sim 1/200$ で計画され、目標の達成に向けて河川整備が進められています。

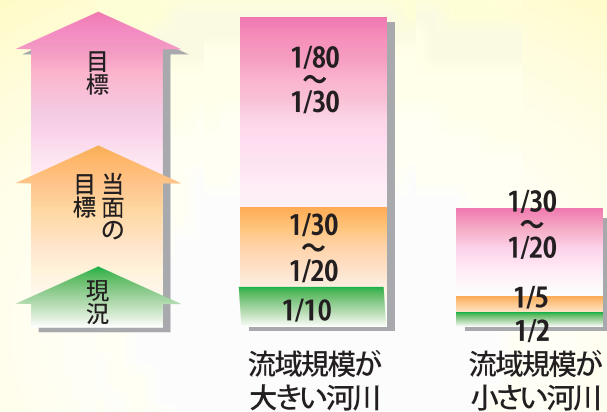
一方、岐阜県が管理している河川では、暫定の整備目標として流域面積が小さい河川で年超過確率 $1/5^{※1}$ 、流域面積が大きい河川では年超過確率 $1/20 \sim 1/30^{※1}$ としており、現在もこの目標の達成に向けて河川整備を進めています。

※1：「年超過確率 $1/100$ 」とは、毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/100$ （1%）であることを示しています。

（単位：安全度）



国管理河川
目標治水安全度



岐阜県管理河川
目標治水安全度



■県内河川の整備状況

県が管理する河川において、暫定の整備目標に対して整備の進捗を表す整備率 $※2$ は、54.1%（令和6年度末現在）にとどまっています。

※2： 改修が必要な河川の延長のうち、暫定の整備目標としている洪水を安全に流すことのできる区間延長の割合です。

着工前



完成後

